

2024年度  
十二月定時總會資料  
公益社団法人 会津青年會議所



2023年12月27日(水) 19:00~

会津青年會議所会館

# 目次

2023年度公益社団法人会津青年会議所事業報告	2
2023年度公益社団法人会津青年会議所組織図	3
2023年度スローガン 並びに 事業計画	4
理事長 及び 三役所感	8
2023年度 諸会議・行事報告	13
1. 総会	14
2. 理事会	15
3. 定例会	18
4. 各種会議・行事報告	19
2023年度 事業報告	21
5. 事業・委員会報告	
(ア) 四役	22
(イ) 総務委員会	25
(ウ) 地域委員会	29
(エ) 青少年委員会	33
6. 外部団体出向者名簿	37
7. 出向者報告	38
8. 特別委員会報告	43
9. 備品明細	51
10. 2023年度 会計決算報告	53
(ア) 2023年度 社団法人会津青年会議所 一般会計決算書	54
(イ) 正味財産増減計算書	55
(ウ) 正味財産増減計算書 内訳表	58
(エ) 正味財産増減計算書 事業別内訳表 (特別会計内訳)	60
(オ) 貸借対照表	62
(カ) 財産目録	64
(キ) 決算書類に対する注記	65
11. 監査報告書	68
2024年度公益社団法人会津青年会議所 事業計画書	69
2024年度 公益社団法人 会津青年会議所 組織図	70
2024年度 公益社団法人 会津青年会議所 理事長所信	71
2024年度 公益社団法人 会津青年会議所 理事長所信	
1. (ア) 総務委員会	75
(イ) ひと・まち委員会	76
(ウ) 事務局	77
2. 特別委員会	78
2024年度 公益社団法人 会津青年会議所 会計予算	
1. 2024年度 公益社団法人 会津青年会議所 一般会計予算書	79
2. 正味財産増減計算書	81
3. 正味財産増減計算書 内訳表	84
4. 正味財産増減計算書 事業別内訳表 (特別会計内訳)	86
2024年度 公益社団法人 会津青年会議所 年間スケジュール	88

公益社団法人 会津青年会議所

2023年度 事業報告書

自 2022年12月 1日

至 2023年11月30日

# 2023年度 組織図

監事
星 辰典
監事
田中 厚

直前理事長	鈴木 亮平
理事長	林 駿平

副理事長(総務)	栗城 宏修
副理事長(地域)	松本 和也
副理事長(青少年)	遠藤 和輝

専務理事	山口 大輔
------	-------

委員会名	総務委員会	地域委員会	青少年委員会
委員長	星 直範	松村 俊祐	清水 広太
副委員長	深谷 瑞比古 堺野 美将 近野 直斗	若林 信一 矢木 尚彦 大里 正樹(サ)	伊藤 正治 添田 将 大竹 史泰(サ)
委員	大関 和恵	吉田 木道 高崎 慎也 下平 常貴 星 悠斗(サ)	笠井 章久 高久 幸平 菅家 成哲 一重 卓冬
	事務局員		

(公社)日本青年会議所	
(公社)日本青年会議所 東北地区協議会	
(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会	
監査担当役員	星 辰徳
アカデミー委員会	副委員長 松本 和也 幹事 若林 信一 委員
福島の未来創造委員会	
ブロック大会実行委員会	委員 田中 厚 委員
組織連携推進委員会	
総務広報委員会	

## 理事長所信

第67代理事長 林 陵平

### 【はじめに】

会津青年会議所は、全国で24番目に福島県初の青年会議所として設立され、これまで諸先輩方が「地域のために」運動を続けて72年目を迎えます。私たちとこれからともに活動していく仲間は、長きにわたり数々の功績を残してきた団体に所属していることに誇りと責任をもって日々活動を進めていかななくてはなりません。

3年前に突如発生した新型コロナウイルス感染症によって生活様式は大きく変化し、感染拡大を避けるため行動は制限され我々の運動も縮小・中止を余儀なくされました。現在では感染対策は求められますが運動の制限は少なくなり、地域活動が活発している今こそ、青年会議所が目的として掲げる「明るい豊かな社会」を実現するために先陣を切って地域課題解決に向けた運動を展開していく必要があります。我々はこの3年間コロナ禍でも出来ることはないか常に試行錯誤し活動・運動を継続してきました。その経験と知識を活かして活動・運動を進めていく中で地域の発展だけでなく会員の成長にも重点をおき、地域のリーダーとなるべく運動を進めていきます。

### 【会員の成長】

青年会議所の活動・運動では会員にそれぞれ役割があり、その中に多くの学びの機会があります。しかし、会員数の減少により割り振られる役割が増加し、それらをこなすことに終始してしまい、事業を通して得られる学びに気付けなくなっています。そこで学びが多くあるという意識付けをすることにより、事業で得られる会員の資質向上の効果が増大すると思います。会員の成長無くして質の高い活動・運動は展開できません。会員が減少している今だからこそ会員の資質向上について今一度考えなくてはなりません。

さらに、青年会議所の一つの特徴として単年度制があり、役職に応じた役割を1年間全うすることで能力を高め、多角的な目を養い、人として成長をしていくことができます。会員が成長していくことで周りの人をまとめ上げられる地域のリーダーに近づきます。1年後に事業や役職を通して自分がどう成長したいかを想像しながら1年間を過ごし、家族・従業員・地域の人から憧れられる存在をともに目指しましょう。

### 【成長が人を繋げる】

青年会議所は20歳から40歳の限られた年代で活動する団体であり、今年度は25名でのスタートとなります。「明るい豊かな社会」の実現のために効果的かつ影響力の高い事業を展開するには会員の確保が不可欠です。

組織の魅力を創るのは人だと考えます。会員が会津のことを思い、必死に活動して成長していく姿を青年世代に見せることが一番の会員拡大活動だと信じています。それゆえ、参加意欲を掻き立てられる魅力ある事業を展開するのは当然ながら、会員候補者となる同世代へ参加の機会を提供する積極的な発信活動が必要です。会員拡大は一人ではできません

ん。それゆえに全会員で取り組み、会津の未来を創る持続可能な活動・運動を行う会津青年会議所を創り上げます。

#### 【持続可能な組織の構築】

会津青年会議所では近年会員数の減少から効率的な運営が求められています。しかし、今でも一部の資料やデータの管理がアナログで行われており、作成・管理に膨大な時間と労力が割かれているのが現状です。

コロナ禍を経験したことで、世の中では在宅勤務やウェブでの会議など接触回避の中からこれまでにない組織の運営が確立されてきています。会員数が少ない今こそ新しい技術を取り入れ効率的かつ確実な管理をすることで組織の運営を進めていかなければなりません。少人数でも持続可能な組織の確立には技術だけでなく、それを支える会員の資質向上も必須です。新たな技術や考え方を学び、自らの能力にすることで会員に不足しているスキルを補い、知識を共有することで組織全体の資質向上を進め、盤石かつ持続可能な組織を目指します。

#### 【新たな課題に取り組む】

会津には四季を通じた自然や歴史的な建造物が数多く存在しており、魅力に溢れた地域といえます。一方で、歴史や文化を大事にしながらもスマートシティ会津若松という全国的にみても先進的な取り組みを進めています。この取り組みは地方都市の問題を解決するうえで有用な手法です。地域住民がこの利便性を体験することで興味を持ち、地域一体となった活用が実現します。この経過こそが、同構想が実現すべき姿であると考えます。我々は、構想の実現のため行政と共に推進し、地域住民に対し利便性を知る機会を提供する必要があります。

一方で、これまで先輩方が地域課題を解決するために事業を展開し、現在も継続事業として行っているものがあります。過去の事業を踏襲しつつ、今の会津青年会議所だから出来る独自性のある事業を展開し、より地域に根差した団体となる必要があります。我々に何が出来るのかを見極めて事業を構築し、確実に地域課題を一つずつ解決していきます。

#### 【熱い想いをつなげる】

我々は明るく豊かな社会の実現のために熱い想いをもって日々活動・運動を行っています。明るい豊かな社会はその時々によって理想が変わるものであり、その理想に近づけるためには、継続的な活動が必要不可欠であり、熱い想いを若い世代へ継続的に繋げていく必要があります。

熱い想いとはスポーツ・勉強においても同じことがいえ、必ず目的を達成するという想いを持って取り組む姿勢でのことです。目的を実現するためにがむしゃらに行動する姿は自らを成長させるだけでなく周囲の人に影響を与え、周囲を巻き込む地域のリーダーとなる人財になると考えます。

我々は運動を通して子どもたちと触れ合う中で我々の想いを伝播させ、熱い想いを持った会津の未来を担う若き人財を育成していきます。

### 【更なる高見を目指して】

青年会議所には素晴らしい人財がおり、会津青年会議所以外にも優秀で個性的・魅力的な人財がいます。その同志たちと繋がるのが出向であり、福島県内だけでなく全国、世界までつながることができ、会津青年会議所だけでは経験できないような規模の活動・運動に携わることができます。同志たちと切磋琢磨する中で更なる自己成長を実現することができる出向こそが青年会議所の魅力だと考え、会員が自己成長のために出向に挑戦できる土台を創りあげます。出向者が増えることで会員個人の成長が進むことで組織の価値を上げることを目指します。

また、会津青年会議所では歴史的に深い繋がりがある地域であるむつと函館の地で運動を続けている青年会議所と姉妹青年会議所を締結しております。出向での繋がり以外で他青年会議所と交流が続けられるこの繋がり的重要性を全会員で共有し、先輩方が結んだこの縁を大事に姉妹青年会議所と交流を続け、その中で得た経験と知識をこれからの活動・運動に繋げます。

### 【最後に】

まちをより良くすることは決して簡単なことではありません。しかし、行動を起こさなければ何も変わらず、具体的に行動しなければ社会は変化しません。我々はこれからも「明るく豊かな社会」を実現するための地域課題を追求し常に前を向いて邁進します。

本年度のスローガン「ともに成長しよう！未来のために」の「ともに」の言葉には地域課題を解決する活動・運動の過程で地域発展だけでなく会員の成長も実現しなければいけないという思いが込められています。会員の成長が会津青年会議所の質を向上させ、地域課題解決の力を向上させます。

新しいことに挑戦するという事は、新たな技術や手法を学ぶだけでなく地域のリーダーになる為の自己成長の機会に溢れています。青年会議所では社業では躊躇してしまうようなことでも挑戦できる団体だと先輩から教えられたことがあります。挑戦することで何を学び、改善点を見出し、次に活かせる方法を考える過程が重要です。もとより、事業を成功させることに対して努力と準備を怠ってはいけませんが、事業を立案する委員長をはじめとする各委員会には過去の事業を踏襲しつつ、新たな課題に挑戦することに躊躇せず1年間取り組んでいきましょう。

## <基本理念>

新しいことに挑戦し続けることが  
地域に新しい波を引き起こす。

## <スローガン>

ともに成長しよう！未来のために  
～地域課題解決の鍵は自己成長～

### <基本方針及び事業計画>

1. 会津青年会議所全体として取り組む事業
  - ・公益社団法人日本青年会議所及び東北地区協議会  
福島ブロック協議会への積極的な参加、支援
  - 第53回福島ブロック大会 in 猪苗代への積極的な参加、支援
  - ・姉妹青年会議所との交流
2. 会津青年会議所が委員会を通して取り組む事業
  - ・持続可能な組織形成事業
  - ・新たな地域課題に取り組む事業
  - ・熱い想いを持つ青少年育成事業
  - ・会員拡大
3. 会津青年会議所が行政、他団体と協力して行う事業
  - ・会津絵ろうそくまつり
  - ・わんぱく相撲

### <委員会構成>

1. 総務委員会
  - ・総務、広報、財務
  - ・総会、理事会など諸会議の運営
  - ・会員に関する資料の管理
  - ・持続可能な組織形成事業
2. 地域委員会
  - ・新たな地域課題に取り組む事業
  - ・絵ろうそくまつり
3. 青少年委員会
  - ・熱い想いを持つ青少年育成事業
  - ・わんぱく相撲大会

## 理事長所感

公益社団法人 会津青年会議所  
第 67 代理事長 林 陵平

本年は「ともに成長しよう！未来のために～地域課題解決の鍵は自己成長～」をスローガンに掲げ一年間運動を邁進してまいりました。

私がスローガンに込めた想いは会員の成長こそが今の青年会議所に求められることだと考えました。会員の成長が無ければ会津青年会議所の組織としての成長、会員拡大は達成できないと考え「ともに成長しよう！未来のために」とスローガンを決めました。

新型コロナウイルスも沈静化し、制限のない事業や運動が出来る年によりよくなりました。しかし、私の力不足もあり会員拡大も思うように進まず、少ない予算に縛られ、思い切った事業や運動が各委員会で展開できなかったのが一番の後悔として残りました。

そんな状況の中でも各委員会思考を凝らし活動・運動や事業も盛んに行ってくれました。

星直範君を委員長とする総務委員会は減少した会員数でも意欲的に活動できる環境を整え業務効率化を図ると同時に会員に不足しているスキルを補うための会員資質向上に向けて活動してくれてきました。1月5日の新年会では参加した他LOMからも素晴らしい運営でしたとお褒めの言葉を頂くくらいでした。4月例会ではJCIMissionにも追加されたリーダーシップの文言に対してリーダーとはどうあるべきなのかをテーマに2022年度福島ブロック協議会会長を務められた斉藤和治様を講師としてお招きし、組織力を上げるリーダーシップの理想像について考え、1年後になりたい自分についての行動宣言までしていただきました。

総務委員会は有能なメンバーが多かった半面、卒業生も多く、納会・卒業式では委員長の負担も多かったと思われれます。総務委員会としての業務も多かったと思いますが副委員長を中心にメンバーで作業を分担し、委員長を支える為に一生懸命頑張っていました。総務委員会の皆様、一年間本当にお疲れさまでした。

松村俊祐君を委員長とする地域委員会では二年目で右も左も分からない状況であるにも関わらず委員長を引き受けてくれました。会津青年会議所の一大事業と言っても過言ではない会津絵ろうそくまつりでは多くの団体、ボランティアの先導をしなければならず精神面で心労お察しいたします。おかげで特段大きな問題なくおえることが出来ました。6月例会ではAict内の企業2名と会津若松市企画調整課スマートシティ推進室長をお招きし行政としてのスマートシティとしての取り組みについてトークセッション形式で講演していただきました。スマートシティという言葉はよく聞くがうまく説明できないそんな部分を補う例会になりました。10月には私の希望もあり、石垣を守る事業を実施していただきました。これまでの樹木の伐採ではなく、石垣の重要性、保全の必要性を地域の方々に知ってもらうことが重要であ

ると考え、市民参加型の事業とし専門家の講演と石垣のツタ除去を実施することで地域住民に石垣の現況を知ってもらうことが出来ました。

地域委員会では大きな事業が続き、松村委員長は大変だったとは思いますが松本副理事長はじめ副委員長を中心に協力することで1年間やり切ってくださいました。地域委員会の皆様お疲れ様でした。

清水広太君を委員長とする青少年委員会では子どもたちにあらゆる経験をさせることが将来の成長につながると清水委員長の考えのもとわんぱく相撲、アイススケート事業を実施してくださいました。アイススケートでは磐梯熱海まで電車移動しスケートを体験するという清水委員長ならではの事業であり、参加した子どもたちからは多くの笑顔が見られる良い事業となりました。さらに5月例会わんぱく相撲会津場所では全学年を対象として開催しコロナ明けということもあり相撲未経験者の参加者が多く相撲という体験を多くの子どもたちに経験させることが出来ました。今年は福島ブロック大会が会津で行われ、各地から勝ち上がった選手の熱気あふれる試合に見ている我々も興奮し盛り上がりました。

青少年委員会は少ないメンバーであるなかでも副委員長の協力、支えもあり結果的にはすべての事業・運動をこなして頂きました。お疲れ様でした。

そして、本年は福島ブロック協議会のブロック大会が同じ会津エリアである猪苗代の地で開催されました。猪苗代青年会議所では16名と少ないメンバーであることもあり、会津エリア一丸となって取り組むことが必須でありました。私も猪苗代でブロック大会が開催されると決まった2年前から全力で支え、協力していく気持ちでいました。今年は理事長を受けていることもあり、私個人としては直接的には協力することが出来なかったが、鈴木亮平君、田中厚君にはブロック大会実行委員会に出向しながら猪苗代青年会議所での集まりにも参加する等積極的に関与していただいたこともあり、宮澤理事長からも御礼のお言葉を頂きました。今後も会津エリアは一丸となり支えあいながらではなければ良い事業・運動を展開することが難しくなる時代に入ると考えます。

出向では福島ブロック協議会に監査担当役員として星辰典君をはじめ多くのメンバーが出向してくださいました。会員会議所では毎回素晴らしい監査講評を披露し、監査担当役員の役目を全うしてくださいました。次年度は私も福島ブロック協議会の監査担当役員に出向いたしますので星辰典君の姿を目標に役目を全うさせていただきます。本年各委員会に出向していただきましたメンバーに改めて御礼申し上げます。

本年度、私が理事長を受けるにあたって理事を受けてくれたメンバー、そして私の両腕となって支えてくれた山口専務、会津青年会議所を支えてくれた各委員会メンバーには感謝しかありません。私はあと2年で卒業となりますが、これからは自分も成長し続けLOMに恩返ししていく2年にしていく事をお誓い申し上げます理事長所感とさせていただきます。

一年間、本当にありがとうございました。

## 三役所感

### 副理事長所感

副理事長 栗城 宏修

本年度は林理事長のもと、副理事長として総務委員会を担当し運動・活動に励んでまいりました。

担当した総務委員会では Challenge～持続可能な組織を目指して～をスローガンに掲げ、一人ひとりが未来のために自ら考え行動することで、盤石かつ持続可能な組織を目指して事業を展開しサポートしてまいりました。本年度委員会では遅い時間までメンバー一人ひとりが励み、年間スケジュールに遅れることなく運営することができました。委員長をはじめメンバー全員が責任を持って行動し団結した結果であったと思います。

また、市への出向等出席できず申し訳ありませんでした。代わりに出向していただいた方々に感謝申し上げます。

今年一年間支えていただきました会津青年会議所の皆様本当にありがとうございました。

副理事長 遠藤 和輝

本年、林理事長のもと、副理事長として会の運営に携わらせていただきました。三役の皆様と協力しながら、よりよい会の運営に努められた1年だったと感じています。

まずは青少年委員会担当として、理事長が掲げる、「ともに成長しよう！未来のために～地域課題解決の鍵は自己成長～」を意識し、委員長の自立を促していく担当副理事長となれるよう1年間思考錯誤させていただきました。委員長自身のこういったことをやりたいたいというアイデアを大切に、委員長が自ら行動し、委員会メンバーを引っ張っていつてもらえるよう意識しました。その結果、委員会メンバーはもちろんのこと、三役をはじめ、委員会外の会員の皆様にも助力をいただくことができ、なんとか一年間走り抜けることができました。担当として、委員長の成長を実感することができました。ありがとうございました。

続いて、副理事長として、青年会議所としての出向や地域の関係団体への出向など、多くの機会をいただきました。人との出会いにより、私自身の知見を広げることができました。様々な関係性を持つことは負担と感ずることもありますが、私自身の成長にとってはかけがえのない経験であると改めて感じるすることができました。このような機会を与えていただいた林理事長、そして出向に際し、ご支援、ご協力いただいた会員の皆様心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後に、この一年を通して私が感じたこと、それは、失敗にせよ、成功にせよ、経験してみる、やってみるということは非常に大切であり、行動したからこそわかること、学べることが非常に多いということです。毎年理事メンバーが変わる会津青年会議所だからこそ、できる、できないじゃなく、やってみる大切さを何度でも学ぶ機会を会員全員に平等に提供されています。これからも、ともに成長していきましょう。1年間ありがとうございました。

副理事長 松本 和也

本年は「地域の交流が未来を切り拓く！」をスローガンに松村委員長を中心に運動を展開してきました。

2月に行われました会津絵ろうそくまつりでは松村委員長のアイデアで企画したオリジナル企画や立体行燈の展示を行い好評でした。6月例会「未来への第一歩を踏み出そう！」では、オリジナル事業として行い、会津若松市のスマートシティ構想を理解する第一歩となりました。10月例会「石垣を守る事業」では一般の参加者も募り事業を行い、石垣を含む鶴ヶ城の保全を地域住民への理解の機会となりました。

地域委員会での事業を通し、私自身多くの学びと成長の機会となりました。

## 専務理事所感

専務理事 山口 大輔

本年度は専務理事として、林理事長が掲げる「ともに成長しよう！未来のために～地域課題解決の鍵は自己成長～」のスローガンのもとJC運動・活動を推進しました。私は、委員長、副理事長、出向では福島ブロック協議会委員長を経験させていただき、プレイヤーとしては一通りの経験をしたと考えておりましたが、マネージャーとしての役割が大部分を占め戸惑いが多い1年でした。そのような中でも専務経験者のメンバーが多く疑問点を聞ける機会に恵まれたなかでの活動になりました。

また、本年は新型コロナウイルス感染症の感染症レベルが下がり、従来の事業が展開できる状況でしたが、事業展開のための事務運営に課題があったと考えます。この課題を次年度以降改善課題としてさらにより組織運営を実現していきたいと考えます。

最後に1年間会員の皆様の支えがあり、会津青年会議所を運営することができました。ありがとうございました。特に専務理事を任命していただいた林理事長、そして理事のメンバーに感謝申し上げます。

# 2023年度 諸会議・行事報告

# 1. 総会

NO	総会名	とき	ところ	議事内容
1	2023年度 十二月定時総会	2022年12月27日	会津青年会議所会館	議案 第一号議案 2022年度事業報告承認の件 第二号議案 2022年度決算承認の件 第三号議案 2023年度理事選任の件 第四～十一号議案 2023年度理事職務分担選任の件 第十二～十四号議案 2023年度監事選任の件 報告事項 1、2023年度事業計画報告の件 2、2023年度予算報告の件
2	2023年度 八月定時総会	2023年8月28日	会津青年会議所会館	議案 第一号議案 2024年度理事候補者選出の件 第二号議案 2024年度理事候補者・専務理事候補者選出の件 報告事項 1、2023年度 第一期修正予算報告の件
3	2024度 十二月定時総会	2022年12月27日	会津青年会議所会館	議案 第一号議案 2023年度事業報告承認の件 第二号議案 2023年度決算承認の件 第三号議案 2024年度理事選任の件 第四～九号議案 2024年度理事職務分担選任の件 第十号議案 2024年度外部監事選任の件 報告事項 第一号報告 2024年度事業計画報告の件 第二号報告 2024年度予算報告の件

## 2. 理事会

NO	とき	会議名	議事内容
1	2022/12/27	第1回理事会	協議事項 なし  審議事項 (1) 理事選定の件 (2) 理事長(代表理事)選定 の件 (3) 専務理事(業務執行理事)選定 の件 (4) 模擬理事会審議事項一括承認 の件 理事長所信 の件 基本理念 の件 基本方針・事業計画 の件 委員会構成 の件 組織図・出向者決定 の件 理事会日決定 の件 例会開催日決定 の件 外部出向者三役一任 の件 名義後援三役一任 の件 特別委員会設置 の件 総務委員会基本方針 の件 地域基本方針 の件 青少年委員会基本方針 の件 2022年度予算 の件 2020年度新年会 の件 会津絵ろうそくまつり(部分審議) の件
2	2023/1/10	第2回理事会 ハイブリッド開催	協議事項 (1) 絵ろうそくまつり事業計画 の件 (2) 3月例会 の件  審議事項 (1) 新入会員入会(松村/矢木) の件 (2) 会員資格審議委員会答申 の件
3	2023/2/6	第3回理事会	協議事項 (1) 3月例会 の件 (2) 4月例会 の件  審議事項 (1) 基本財産等管理委員会付託 の件 (2) 褒賞委員会付託 の件 (3) J C 会館管理委員会付託 の件
4	2023/2/20	第1回臨時理事会	協議事項 (1) 3月例会 の件  審議事項 (1) 3月例会 の件
5	2023/3/6	第4回理事会	協議事項 (1) 4月例会 の件 (2) 第28回わんぱく相撲 の件  審議事項 (1) 新年会報告 の件 (2) 4月例会 の件 (3) 例会日変更 の件 (4) 理事監事選考委員会 の件
6	2023/4/6	第5回理事会	協議事項 (1) 第28回わんぱく相撲 の件 (2) 6月例会 の件  審議事項 (1) 進入会員集会(根本) の件 (2) 会津絵ろうそくまつり報告 の件 (3) 第28回わんぱく相撲 の件 (4) 例会日変更 の件 (5) J C 会館管理委員会答申 の件
7	2023/5/8	第6回理事会	協議事項 (1) 6月例会 の件 (2) 7月例会(周年継続事業) の件  審議事項 (1) 新入改印入会(長谷川) の件 (2) 新入会員会費減免 の件 (3) 6月例会 の件 (4) 例会日変更 の件

NO	とき	会議名	議事内容
8	2023/6/6	第7回理事会	協議事項 (1) 7月例会 の件 審議事項 (2) 3月例会報告 の件 (3) 4月例会報告 の件 (4) 7月例会 の件 (5) 例会日変更 の件
9	2023/7/6	第8回理事会	協議事項 (1) 9月例会 の件 (2) 基本財産管理委員会答申 の件 審議事項 (1) 基本財産管理委員会答申 の件
10	2023/8/7	第9回理事会	協議事項 (1) 第28回わんぱく相撲修正 の件 (2) 9月例会 の件 (3) 10月例会 の件 (4) 2023年度修正予算 の件 審議事項 (1) 6月例会報告 の件 (2) 基本財産管理委員会答申 の件 (3) 8月総会 の件 (4) 2024年度理事候補者選出 の件 (5) 2024年度監事候補者選出 の件 (6) 2024年度代表理事候補者・業務執行理事候補者選出 の件 (7) 2023年度修正予算 の件
11	2023/9/6	第10回理事会	協議事項 (1) 9月例会 の件 (2) 10月例会 の件 (3) 11月例会 の件 審議事項 (1) 新入会員入会(高橋) の件 (2) 6月報告 の件 (3) 褒章委員会 の件
12	2023/10/6	第11回理事会	協議事項 (1) 11月例会 の件 審議事項 (2) 7月事業報告 の件
13	2023/11/7	第12回理事会	協議事項 (1) 11月例会 の件 審議事項 (1) 9月例会報告 の件 (2) 10月例会報告 の件 (3) 第28回わんぱく相撲 の件

NO	とき	会議名	議事内容
14	2023/11/29	第13回理事会	協議事項 (1) 2023年度決算(仮) の件  審議事項 (1) 3月例会報告 の件 (2) 6月例会報告 の件 (3) 10月例会報告 の件 (4) 11月例会報告 の件
15	2022/12/6	第2回臨時理事会	協議事項 (1) 2023年度決算 の件  審議事項 (1) 2023年度決算 の件 (2) 2024年度事業計画 の件 (3) 2024年度理事選出 の件 (4) 2024年度監事選出 の件

### 3. 定例会

NO	月例会	担当	とき・ところ	内容
1	12月総会	総務委員会	2022年12月27日(火)	会津青年会議所会館 2023年度十二月定時総会
2	1月例会	総務委員会	2023年1月5日(木)	会津若松ワシントンホテル 2023年度新年会
3	2月例会	地域委員会	2023年2月10日(金) 11日(土)	鶴ヶ城 第2回会津絵ろうそくまつり～ゆきほたる～ テーマ「未来への伝燈」
4	3月例会	青少年委員会	2023年3月21日(火)	磐梯熱海アイスアリーナ 「電車でGO アイスクリーム事業」
5	4月例会	総務委員会	2023年4月14日(金)	会津青年会議所会館 会員の資質向上に関する事業 テーマ「現代のリーダー像」
6	5月例会	青少年委員会	2023年5月14日(日)	あいづ相模場 第28回 わんぱく相撲 あいづ場所
7	6月例会	地域委員会	2023年6月12日(月)	スマートシティAICT 会津の地域課題を考える事業 テーマ「未来への第一歩を踏み出そう！」
8	7月例会	三役	2023年7月1日(土) 2日(日)	天神浜、学びいいな 第53回福島ブロック大会IN猪苗代
9	8月総会	総務委員会	2023年8月28日(月)	会津青年会議所会館 2023年度八月定時総会
10	9月例会	三役	2023年9月21日(木)	会津青年会議所会館 JCへの参加機運上昇セミナー
11	10月例会	地域委員会	2023年10月14日(金)	会津青年会議所会館 石垣を守る事業
12	11月例会	総務委員会	2022年11月18日(土)	芦ノ牧プリンスホテル 納会(出向者報告・委員会報告・褒章・理事長総括)

4.事業・行事開催一覧

No	開催日	種別	事業名	講師等	開催場所	担当委員会
1	2023/12/27	総会	2023年度12月定時総会		会津青年会議所会館	総務委員会
2	2023/1/3	事務所	事務所開き		会津青年会議所会館	理事
3	2023/1/5	例会	公益社団法人会津青年会議所 2023年度 新年会 (1月例会)		会津若松ワシントンホテル	総務委員会
4	2023/1/17	新年会	公益社団法人 郡山青年会議所 新年会		郡山市	三役
5	2023/1/21 ~23	大会	京都会議		京都府京都市	全会員
6	2023/1/25	新年会	公益社団法人 福島青年会議所 新年会		福島市	三役
7	2023/1/27	新年会	公益社団法人 仙台青年会議所 新年会		仙台市	三役
8	2023/1/27	新年会	公益社団法人 二本松青年会議所 新年会		二本松市	三役
9	2023/1/28	新年会	公益社団法人 白河青年会議所 新年会		白河市	三役
10	2023/2/4	ブロック	第1回会員会議所会議		白河市	理事長・専務
11	2023/2/5	ブロック	福島ブロック協議会 新春のつどい・アカデミー開校式		白河市	全会員
12	2023/2/26	例会	第16回会津絵ろうそくまつり 子ども行燈撮影 (2月例会)		鶴ヶ城	地域委員会
13	2023/3/4	ブロック	第2回会員会議所会議		喜多方市	理事長・専務
14	2023/3/21	例会	3月例会「電車でGO スケート体験事業」		会津青年会議所会館	四役
15	2023/4/7	ブロック	第3回会員会議所会議		本宮市	理事長・専務
16	2023/4/23	ブロック	しゃくなげカップ		いわき市	全会員
17	2023/4/26	例会	4月例会 人材育成セミナー	斉藤和治 先輩	会津青年会議所会館	総務委員会
18	2023/5/9	ブロック	第4回会員会議所会議		郡山市	理事長・専務
19	2023/5/14	例会	5月例会 第28回わんぱく相撲あいづ場所		総合運動公園 相撲競技場	青少年委員会
20	2023/5/13	日本	会頭公式訪問		白河市	全会員
21	2023/5/27 ~29	日本	ASPAC ジャカルタ大会		インドネシア ジャカルタ	全会員
22	2023/6/12	ブロック	U-11JCカップ		須賀川市	理事長・専務
23	2023/6/19	ブロック	わんぱく相撲 福島ブロック大会in会津		総合運動公園 相撲競技場	青少年委員会
24	2023/6/19	例会	6月例会 地域課題を考える事業		AICT	地域委員会
25	2023/6/26	事業	会館清掃		会津青年会議所会館	総務委員会
26	2023/7/2	ブロック	第5回会員会議所会議		猪苗代町	理事長・専務
27	2023/7/2 ~3	ブロック	第53回福島ブロック大会in猪苗代 7月例会		二本松市	全会員
28	2023/7/15 ~17	日本	サマーコンファレンス		横浜市 パシフィコ横浜	全会員
29	2023/8/25	総会	2023年度8月定時総会		会津青年会議所会館	三役、総務委員会
30	2023/9/1	ブロック	第6回会員会議所会議		二本松市	理事長・専務
31	2023/9/3 ~4	東北	東北青年フォーラムin北上		岩手県	全会員
32	2023/9/10	清掃	クリーン清掃		会津若松駅	総務委員会
33	2023/9/21	例会	9月例会 JC参加の機運上昇		会津青年会議所会館	三役
34	2023/9/23	会津まつり	会津まつり		鶴ヶ城	全会員
35	2023/10/3	ブロック	第7回会員会議所会議		いわき市	理事長・専務
36	2023/10/7 ~9	日本	全国大会in東京		大分県	全会員
37	2023/10/28	例会	10月例会 石垣を守る事業		会津青年会議所会館	地域委員会
38	2023/11/15	例会	11月例会 納会		芦ノ牧プリンスホテル	総務委員会
39	2023/11/27	ブロック	第9回会員会議所会議		白河市	理事長・専務
40	2023/11/27	ブロック	福島ブロック協議会 事業報告会・卒業式		白河市	全会員
41	2023/12/4	OB	会津JCOB会 総会		ルネッサンス中ノ島	理事
42	2023/12/14	会津4JC	会津4JC卒業式		会津若松市	全会員
43	2023/12/27	総会	2023年度12月定時総会		会津青年会議所会館	総務委員会

# 2023年度 事業報告

### 三

### 役

#### 事業計画

7月例会：第53回福島ブロック大会猪苗代 9月例会：JC参加の機運上昇セミナー
--

#### 事業活動報告

事業名 続！会津の宝探し(7月例会)	開催日時 2023年7月1日(土) 2日(日)
参加予定人数 正会員 25名 一般 0名	協力団体 福島県地方振興局
参加人数 正会員 11名 一般 0名	参加率 全体率 44.0% 正会員参加率 44.0%
公益事業目的 該当項目他3	
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム
福島ブロック協議会の運動を理解することで、スケールメリットの理解の基礎をつくとともに同一エリアの他LOMとの連携を実感することで今後の青年会議所活動を行う際の連携の基礎を形成することを目的とします。	2023年4月26日 第5回三役会 2023年5月8日 第6回理事会 2023年5月24日 第6回三役会 2023年6月6日 第7回理事会 2023年6月7日 勧誘活動 2023年7月1日、2日 例会当日
事業所見	
メンバー全員に開かれた機会であるブロック大会を通じこの体験を得てほしいとの思いで事業構築を行いました。もっとも、参加率を上げることができず全員に機会の提供を行うことができなかったことが残念です。来年以降もこのような機会創造のためにしっかりと説明ができる人材になることをお約束し所感とさせていただきます。	
協力団体	
公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会、一般社団法人猪苗代青年会議所	

## 事業活動報告

事業名 9月例会		開催日時 2023年9月21日(木)	
参加予定人数	正会員 25名 一般 0名	協力団体	一般社団法人函館青年会議所 会津JCOB会
参加人数	正会員 10名 一般 0名	参加率	全体率 40.0% 正会員参加率 40.0%
公益事業目的該当項目他2			
事業目的及び事業概要		実施までのスケジュール及びプログラム	
<p>青年会議所活動に意欲的に参加する会員を増加させることを目的に実施します。本事業は会員相互間で社業JCへの参加の問題点を共有し対策を検討する方法により実施しました。</p>		<p>2023年8月23日 第9回三役会 2023年9月6日 第10回理事会 2023年9月7日 事前課題配布、案内配布 2023年9月21日 例会当日</p>	
事業所見			
<p>社業で抱える課題とJCへの参加という現在当青年会議所が抱える参加率低下という問題に抜本的に取り組む事業となりました。出席者においては問題点の共有や解決策の共有を行えました。もっとも、参加率を上げることができず全員に機会の提供を行うことができなかったことが残念です。来年以降もこのような機会創造のためにしっかりと説明ができる人材になることをお約束し所感とさせていただきます。</p>			
協力団体			

# 総務委員会

委員長 星直範  
副委員長 深谷 瑞比古  
副委員長 堺野 美将  
副委員長 長谷川 孝洋

## 事業計画

<p>《例会》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 総会 (12月例会)</li><li>(2) 新年会 (1月例会)</li><li>(3) 会員の資質向上に繋がる事業 (4月例会)</li><li>(4) 総会 (8月例会)</li><li>(5) 納会 (11月例会)</li></ul> <p>《業務》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 総務<ul style="list-style-type: none"><li>① 会員台帳・名簿・JC手帳の作成</li><li>② 管理全般 (JC会館、備品、各種資料、HP、新入会員への入会手続き業務、管理全般、財務諸表管理の補佐)</li><li>③ 総会の運営</li><li>④ 各種会議の設営・セクレタリー及び議事録の作成</li></ul></li><li>(2) 広報部門<ul style="list-style-type: none"><li>① 広報誌「明日のために」1月作成・発行</li><li>② HP、その他各種媒体 (SNS等) を活用した情報の発信</li><li>③ 各種事業における広報活動の支援</li></ul></li></ul>
--

## 委員長所感

<p>入会后初めての委員長で理事メンバーとして分からないことも多い中、新年会、4月例会と立て続けに事業があり、自分に委員長が務まるのかどうか不安も多かったことを覚えています。これからのJC活動を充実したものにするためには個々の成長だけでなく、会津JC組織としての成長が必要だと感じ、スローガンをChallengeとしましたが、それぞれの事業では、これまでの思考にとらわれず私なりの考えで事業を作り上げることができ、達成感、充実感を味わうことができました。</p> <p>ここまで私が一年間頑張ってくることができたのは、一番近くで私を導いてくれた栗城副理事長、総務委員として頼りない委員長に協力してくれた委員会メンバー、そして理事メンバーの皆さんのご支援、ご協力のお陰だと思っています。今年度経験したことを次年度へ活かし、自分自身も更なる成長へ繋げられるようにこれからも頑張っていきたいです。本当にありがとうございました。</p>
--

## 事業活動報告

事業名	2023年度新年会(1月例会)	開催日時	2023年1月5日(木)18:30~19:30
参加予定人数	正会員 25名 サポーター 2名 一般 331名	協力団体	特になし
参加人数	正会員 19名 サポーター 2名 一般 78名	参加率	全体率 27.7% 正会員参加率 76.0%
公益事業目的該当項目	公1、2、3、他1、2、3		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム		
2023年度のお披露目の場であるとともに、これまで諸先輩方が積み重ねてきた青年会議所運動を、地域を代表する来賓に周知するための絶好の機会となります。そして更なる(公社)会津青年会議所の発展のため、様々な団体や、特別会員からご協力を頂戴しなければなりません。常日頃より我々の青年会議所運動にご理解、ご協力を頂いている方々を新年会にお招きし、感謝を伝え、2023年度の(公社)会津青年会議所の運動方針を発表する場が必要と考えます。年頭に際し、出席者へ2022年度の事業報告並びに御礼、そして2023年度の(公社)会津青年会議所の運動指針を対外へ発信する事を目的に開催いたします。	11、12月 案内状作成・式典・懇親会備品準備 1月 予行演習 事業開催 ・理事長新年の挨拶 ・来賓祝辞 ・祝舞 ・鏡割り ・歓談 ・アトラクション		
事業所見	新年会は、青年会議所のこれからの1年の想いを発表する場として開催されます。また、1年活動する中で、大勢の来賓の方々に来ていただける場でもあります。総務委員会が主導ではありましたが、会員全員が一丸となって来場者の皆様をおもてなしをすることができた新年会でした。 私たち会津青年会議所の新年会を新年の一番初めに披露し、大成功を収めることができ、新年度最高のスタートが切れたのではないかと思います。		
協力団体	特になし		

## 事業活動報告

事業名	会員の資質向上に繋がる事業(4月例会)	開催日時	2023年4月14日(金)19:00~21:20
参加予定人数	正会員 25名 サポーター 2名 一般 0名	協力団体	特になし
参加人数	正会員 16名 サポーター 0名 一般 0名	参加率	全体率 59.3% 正会員参加率 64.0%
公益事業目的該当項目	公1、2、3、他1、2、3		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム		
今年度、JCI Missionにリーダーシップの文言が付け加えられました。リーダーとは何か、何が必要かを学び、会員一人ひとりが自ら考え行動し、限られた人数の中で最大限のパフォーマンスを発揮することで、盤石かつ持続可能な組織形成が必要と考えます。盤石かつ持続可能な組織形成に必要なスキルを学び、会員一人ひとりが自ら考え行動できる人財となることを目的に開催します。 【オブザーブ参加】 喜多方JC 5名 猪苗代JC 3名 会員候補者 2名	2月3月 講師打合せ(zoom) 4月 事業開催 ・講師講演 ・理事長謝辞 ・いろりの開催		
事業所見	会員一人ひとりの成長と組織の強靱化を目的に本事業を考えました。講師の選定もメンバーにとって身近な存在で、説得力があり、事業後に各々のモチベーションアップに繋がる人選ができたのではないかと思います。 ワークショップでは活発な意見が繰り出されておりました。また実施後のアンケートでは、今後の青年会議所活動、社業にも活かせる内容だったと多数のご好評の声を頂戴することができ、有意義な事業とすることができました。		
協力団体	特になし		

## 事業活動報告

事業名 納会(11月例会)	開催日時 2023年11月18日(土)19:00~20:30
参加予定人数 正会員 25名 一般 2名	協力団体
参加人数 正会員 16名 一般 1名	参加率 全体率 63.0% 正会員参加率 64.0%
公益事業目的該当項目 公1、2、3、他1、2、3	
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム
<p>今日までの活動を次年度へと継承し、(公社)会津青年会議所そして我々一人一人が更なる飛躍に向けて、今年一年の青年会議所活動を振り返り、未来へ向けた一歩を踏み出すことが必要と考えます。一年間の活動を振り返ることで、我々の成長を感じ、課題を共有することで、次年度以降の会津青年会議所活動の更なる推進を目的に開催致します。</p>	<p>9月10月 発送文書作成 資料作成 事前課題提出 11月 備品準備 当日準備 当日 出向者報告 委員会報告 新入会員報告 褒章</p>
事業所見	
<p>出向先でどのような活動を行っているのか知識や理解を深めることができるこの例会は非常に有意義なものであると思う。発表者自身が経験した話しを聞くことで今年度出向しなかったメンバーが出向に対して前向きになることができる。LOM内から出向経験者を増やし、組織としてのレベルアップを図ることができれば、より盤石な組織を築き上げることができるのではないかと感じた。褒章では、褒章者の活動や成果を聞くことで、本人だけではなく周りのメンバーも良い刺激を受け今後の活力とすることができたと思う。</p>	
協力団体	
特になし	



## 地 域 委 員 会

室 長 田中厚  
委 員 長 奥村友一  
副 委 員 長 伊藤正治  
副 委 員 長 高久幸平

### 室長所感

本年度、地域委員会の室長として一年間を事業の構築をサポートさせていただきました。奥村委員長のポテンシャルをすべて引き出せたとは言えませんが、地域委員会として、舵を取った方に無事に到着できたのではと思います。委員会メンバーも精力的に参加していただき、楽しく様々な話を広げることができました。考えて生み出す苦勞の部分はいつも委員長が一人で背負い、次までに形にしてくれたからこそ一年間乗り切ることができたと思います。特に、6月例会と10月例会では、会津への移住者、Uターン者に注目して、一つの傾向と対策が打ち出せたと思います。

一年間の活動を支えて頂いた理事メンバー、委員メンバー、朝夕と精力的に動いていただいた奥村委員長に感謝いたします。ありがとうございました。

### 事業計画

2月例会：第23回会津絵ろうそくまつり  
6月例会：会津の魅力を発見する事業  
10月例会：会津の魅力を発信する事業

### 委員長所感

最後の1年ということで、理事を引き受けさせていただきました。何もかもが初めての経験で、委員メンバー、理事メンバーの皆さまにはご迷惑をお掛けしたことと思います。そんな中、絵ろうそくまつりの計画・準備を進めていきました。事業のゴールは見えているものの、次から次に壁があらわれてくるように感じていました。スタートの段階で全体像を把握しておく必要性を学びました。しかしながら、開催直前の中止決定。それでも、中止が決まった当日に理事メンバーで集まり、代替案を協議し実施できたこと、これはある意味、絵ろうそくまつり本体よりも意味のある事業だったと当時思いました。事業開催にあたり、考えられるあらゆる可能性を想定して計画することの重要性を学びました。6月例会・10月例会開催にあたっては、会津に移住された方々と交流する機会を作ることができ、自分自身の経験を積み、視野を広くすることが出来ました。パネラーや一般の方の参加を募っての事業においては、主に設えの面が課題でした。会場に来られた方全員に不安を感じさせないよう、委員会内では誰が何を担当するのか、細かく決めておく必要がありました。

## 事業活動報告

事業名	第23回会津絵ろうそくまつり	開催日時	2022年2月11日(金)
参加予定人数	正会員 23名 一般 0名	協力団体	絵ろうそくまつり実行委員会、公立大学法人 会津大学 大学部 産業情報学科 デザイン情報コース、県立英高等学校
参加人数	正会員 14名 一般 0名	参加率	全体率 60.9% 正会員参加率 60.9%
公益事業目的該当項目公1			
事業目的及び事業概要		実施までのスケジュール及びプログラム	
行動が制限されている昨今、絵ろうそくまつりを通して会津の観光名所である鶴ヶ城・御菓園に来場してもらい、歴史や文化に触れてもらうことを目的に開催する		2021年11月12月立案・準備 2022年1月19日 LOM全体説明会 1月30日 親子ろうそく絵付け体験→中止 2月 3日 運営ボランティア説明会→中止 2月11日・12日 会津絵ろうそくまつり→中止 2月13日 会場清掃→中止 2月後半 参加者合同反省会→中止 2月10日 絵付け用ろうそくの郵送作業 2月26日 こども行燈の撮影作業	
事業所見			
会津絵ろうそくまつりは中止となったが、自宅での絵付け体験や幼稚園児・保育園児による子ども行燈撮影実施を通して、子どもたちが学び、体験する機会は作ることができた。代替案実施によって絵ろうそくまつりを楽しみにしている方がいるということを実感できた。 また、これら会津青年会議所としての事業を新聞やHP・FBに掲載したことで、会津青年会議所としての運動を市民に周知することができた。			
協力団体			
絵ろうそくまつり実行委員会、公立大学法人会津大学短期大学部産業情報学科デザイン情報コース、県立英高等学校美術工芸部			

## 事業活動報告

事業名	会津の魅力を発見する事業	開催日時	2022年6月19日(日)
参加予定人数	正会員 25名 一般 50名	協力団体	特になし
参加人数	正会員 15名 一般 27名	参加率	全体率 56.0% 正会員参加率 60.0%
公益事業目的該当項目公1			
事業目的及び事業概要		実施までのスケジュール及びプログラム	
若い世代の人々が地域の魅力と課題に気付き、住みたくなるまちを創造することで、会津で夢を追う人が増える地域になるようにこの事業を展開する。		2022年4月5月立案・準備 6月19日 13時00分 会場集合・設営 14時35分 セレモニー開始 14時45分 開場 15時00分 第一部トークセッション開始 16時00分 第一部終了 16時05分 第二部ワークショップ開始 16時07分 各自取組み・隣席と内容の交換 16時30分 5分休憩 16時35分 第二部の発表(こちらで何個かピックアップ) 16時50分 質疑応答～講評 17時00分 閉会・監事講評	
事業所見			
「移住者から学ぶ会津の魅力」をテーマに会津に移住して活躍されている方3名を招いてのトークセッションでした。 「住みたくなる会津とは何か。その実像を掴む」ためにトークセッション後にワークショップとアンケートを実施した。 参加者全員が目的意識を持って参加されている方が多く、開催意義を改めて強く感じた。 それゆえに、参加者によるワークショップは隣の席同士ではなく、グループで行うことが望ましかった。 パネラーの方3名も、会津への想いを熱く語っていただき、こちら側も聞き入ってしまう内容だった。			
協力団体			
福島県会津地方振興局 ハタコーポレーション株式会社(JC応援企業)			

事業名 会津の魅力を発信する事業		開催日時 2022年10月14日(金)
参加予定人数 正会員 27名 一般 5名	協力団体 特になし	
参加人数 正会員 15名 一般 5名	参加率 全体率 62.5% 正会員参加率 55.6%	
公益事業目的 該当項目 公1		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム	
私たち青年会議所会員が、移住して輝いている人の姿を通して会津の魅力を地域内外に届け、会津で夢を見たいと思う人が増える地域になるように、この事業を展開する。	2022年8月9日立案・準備 18:00 会場集合・設営 18:30 参加メンバー集合 19:00 セレモニー開始 19:10 開場 19:20 開会の挨拶 19:22 趣旨説明 19:27 講師紹介 19:30 第一部開始 20:10 第一部終了～休憩 20:15 第二部開始 21:00 第二部終了～発表	
事業所見		
一般参加者には50歳以上の方もいたことを考えると、Instagramに関心がある幅広い世代の方が学ぶ機会となった。言い換えると、あらゆる世代の方がSNSに関心があると裏付けられたと思う。当日のスケジュールに関しては、タイムスケジュールの打ち合わせが不十分で、時間をオーバーしてしまい、ワークショップが実施できなかったことが反省。Instagram掲載用に6人の移住者へアンケート取材訪問を実施。皆さま快諾していただき、対象者への効果はあったと考える。全体のスケジュールに余裕がない中で動いていたので、Instagram掲載後の社会効果は不明瞭ではあるが、会津青年会議所のInstagramを開設したことで、より青年会議所の存在が地域と近くなることを期待する。		
協力団体		
無し		



# 青少年委員会

委員長 清水 広太  
副委員長 伊藤 正治  
副委員長 添田 将  
副委員長 大竹 史泰

## 事業計画

3月例会 電車でGO アイススケート体験事業  
5月例会 第28回わんぱく相撲 あいづ場所

## 委員長所感

今年度の青少年委員会は様々な経験を積んでほしいとの思いで始めました。アイススケート体験事業では、移動手段を普段乗車しない電車にし、昔は学校、家族などで経験する機会があったアイススケートを体験してもらいました。  
わんぱく相撲では、総当たり戦にすることで取組の回数を増やす、練習会を開催するなどをし相撲を通して学べる札節、相手への敬意や思いやりを培ってもらいました。  
どちらの事業も、半数以上の子どもたちが初めての経験だった、経験することができて良かった、楽しかったとありがたいお言葉を多くもらい体験してもらえて本当に良かったと思えました。  
二つの事業が無事に終わることができたのも皆さまのご協力のおかげです。誠にありがとうございました。

## 事業活動報告

事業名	電車でGO アイススケート体験事業	開催日時	2023年3月21日(火)10:00～17:40
参加予定人数	正会員 25名 一般 30名	協力団体	会津若松市教育委員会
参加人数	正会員 10名 一般 28名	参加率	全体率 69.1% 正会員参加率 40.0%
公益事業目的該当項目	公2		
事業目的及び事業概要	実施までのスケジュール及びプログラム		
子どもの頃に経験したことを将来の糧として、何事にも積極的にチャレンジする人財育成を目的に実施します。	12月23日 委員会 1月9日 委員会 1月10日 第2回理事会 1月15日 委員会 1月19日 委員会 1月24日 現地調査 1月27日 委員会 1月下旬 第2回三役会 2月6日 第3回理事会 2月8日 委員会 2月16日 第1回臨時三役会 2月20日 第1回臨時理事会 3月21日 事業当日 3月下旬 委員会 報告書作成 月中旬 委員会 報告書作成 5月上旬 第5回三役会 5月上旬 第5回理事会 報告書上程  2023年3月21日(火) 10:00 委員会メンバー集合 11:00 受付開始(駅前公園) 11:30 受付終了 11:35 理事長挨拶 11:40 趣旨説明(子供たちがメインの事業なので形式的な開会式はしない) 11:45 切符購入 12:20 会津若松駅出発 13:17 磐梯熱海駅到着 13:40 会場到着 13:45 準備 14:00 スケート開始 15:30 スケート終了 15:45 移動 16:32 磐梯熱海駅出発 17:21 会津若松駅到着 17:30 理事長から参加者に謝辞		
事業所見			
今回の事業は、子供たちに多くの経験を積んで欲しいとの思いから開催致しました。実際に参加された子どもたちからは、初めて経験した、楽しかったなど多くのお声をいただき開催して良かったと思う事業となりました。アンケートの感想の中にも、少しずつ上手に滑れるようになった実感、担当の先生が良かったなど子どもたちとのコミュニケーションも上手に取れた事業となりました。 今回開催するにあたり、子供たちが経験を積みながら楽しく活動するにはどうすればいいかと委員会メンバーで話し合いをしながら考えた事業です。当日、事前準備と至らない点は多々ありましたが、皆さまのご協力により、無事にアイススケート事業を終えることができました。誠にありがとうございました。			
協力団体			
会津若松市教育委員会			

事業活動報告

事業名	第28回わんぱく相撲 あいづ場所	開催日時	2023年5月14日(日)8:00～14:15
参加予定人数	正会員 25名 一般 30名	協力団体	会津相撲協会、会津相撲クラブ、会津若松市教育委員会、喜多方市教育委員会
参加人数	正会員 15名 一般 28名	参加率	全体率 78.2% 正会員参加率 60.0%
公益事業目的 該当項目 公認			
事業目的及び事業概要		実施までのスケジュール及びプログラム	
<p>子どもたちがわんぱく相撲を通して、心・技・体を鍛え何事にも積極的にチャレンジする負けない熱い想いをもった人財となることを目的とします。</p>		<p>■実施までのスケジュール</p> <p>2月 7日 わんぱく相撲ブロック大会第1回打ち合わせ                  2月中旬 会津相撲協会、会津相撲クラブと打ち合わせ                  2月28日 第3回三役会                  3月 6日 第4回理事会                  3月中旬 相撲協会協力の元、呈取表作成                  3月下旬 第4回四役会                  4月6日 第5回理事会                  4月中旬 各学校へチラシ配布                  5月14日 わんぱく相撲あいづ場所                  6月10日 わんぱく相撲福島ブロック大会 会津                  7月30日 わんぱく相撲男子全国大会 東京都・両国国技館                  9月24日 わんぱく相撲女子全国大会 新潟県新発田市                  11月7日 第12回理事会にて報告</p> <p>2023年5月14日(日) 第28回わんぱく相撲あいづ場所</p> <p>5:20 委員会メンバー集合                  5:50 メンバー集合・全体ミーティング                  6:30 設営開始                  8:00 参加者受付開始・まわしつけ開始                  8:05 リハーサル                  8:30 開会式                  8:31 開会の辞                  8:33 主催者挨拶                  8:35 相撲協会挨拶                  8:40 来賓挨拶                  8:45 選手宣誓                  8:50 競技上の注意                  9:00 集合写真撮影                  9:10 準備体操                  9:20 礼法説明                  9:30 競技開始</p> <p>9:30 小学校1年～3年生 女                  10:00 小学校1年～3年生 男                  10:30 小学校4年～6年生 女                  11:00 小学校4年生取組 男                  11:30 小学校5年生取組 男                  12:00 小学校6年生取組 男                  12:30 取組終了                  12:30 昼食                  13:30 閉会式・成績発表                  13:45 優勝杯授与                  13:50 講評(会津相撲協会)                  13:55 閉会の辞                  14:00 写真撮影・参加者解散・上位者へブロック大会への案</p>	
事業所見			
<p>今回の事業は、子どもたちに多くの経験を積んで欲しいとの思いから開催いたしました。当日、参加された子どもたちからは、初めての経験だった、参加できて楽しかった、勝つことの喜びを知ったなど数多くのお言葉をいただきました。この体験を経験してもらうことが出来たのも皆さまのおかげです。ありがとうございました。</p> <p>当日、事前準備と至らない点は多々ありましたが、皆さまのご協力により、無事にわんぱく相撲を終えることができました。誠にありがとうございました。</p>			
協力団体			
会津相撲協会、会津相撲クラブ、会津若松市教育委員会、喜多方市教育委員会 南会津町教育委員会、西会津町教育委員会、会津美里町教育委員会			

# 青少年委員会 事業収支決算書

(単位:円)

項目	3月例会			5月例会			差異	予算額	決算額	差異
	予算額	決算額	差異	予算額	決算額	差異				
<b>(収入の部)</b>										
1. 基本財産運用益			0			0				0
2. 特定資産運用益			0			0				0
3. 受取資産会費	62,000	55,207	6,793	180,000	159,777	20,223				
4. 事業収益			0	14,000	14,000	0				0
5. 受取補助金等			0			0				0
6. 受取負担金			0			0				0
7. 受取寄付金			0	50,000	50,000	0				0
8. 雑収益			0			0				0
<b>収入合計(1)</b>	<b>62,000</b>	<b>55,207</b>	<b>6,793</b>	<b>244,000</b>	<b>223,777</b>	<b>20,223</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>(支出の部)</b>										
1. 給料手当			0			0				0
2. 福利厚生費			0			0				0
3. 旅交通費			0	9,420	9,420	0				0
4. 通信運搬費			0			0				0
5. 消耗什器備品費			0	33,000	33,000	0				0
6. 消耗品費		3,942	△ 3,942	15,170	10,125	5,045				0
7. 印刷製本費	9,074		9,074	25,582	27,587	△ 2,005				0
8. 広報費			0			0				0
9. 燃料費			0			0				0
10. 光熱水料費			0			0				0
11. 賃借料	41,600	41,000	600	3,570	3,570	0				0
12. 保険料	10,265	10,265	0	15,310	7,860	7,450				0
13. 諸謝金			0	3,300	3,300	0				0
14. 租税公課			0			0				0
15. 委託費			0	11,000	11,000	0				0
16. 委託外費			0	89,814	83,000	6,814				0
17. 記念品費			0	32,180	32,290	△ 110				0
18. 雑費	1,061		1,061			0				0
19. 預かり金支出			0			0				0
20. 予備費			0	5,654	2,625	3,029				0
<b>支出合計(2)</b>	<b>62,000</b>	<b>55,207</b>	<b>6,793</b>	<b>244,000</b>	<b>223,777</b>	<b>20,223</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>収支差額(1)-(2)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>

## 2022年度外部出向者名簿

	各会議・委員会名	出向者名
1	会津若松市こどもまつり実行委員会	林陵平、清水広太、遠藤和輝
2	会津若松市交通対策協議会委員	深谷 瑞比古
3	会津若松市交通対策協議会委員交通安全教育部会	深谷 瑞比古
4	会津若松市民憲章推進委員会	星 辰典
5	会津若松市民憲章推進委員会都市美化部会	星 辰典
6	会津若松社会福祉協議会評議員(2年)	深谷 瑞比古
7	会津EU協会理事	山口 大輔
8	会津若松市中小企業勤労者福祉サービスセンター理事	田中 厚
9	会津コンピューターサイエンススクール実行委員会	山口 大輔
10	福島県クリーンふくしま運動推進協議会(2年)	林 陵平
11	会津秋まつり実行委員会(会津まつり協会)	林陵平
12	会津若松市勤労青少年ホーム運営委員	林陵平
13	会津若松観光ビューロー役員(2年)	鈴木亮平
14	荒城の月音楽祭	遠藤 和輝
15	会津大学短期大学部地域活性化センター推進 H25.7.8~	深谷 瑞比古
16	会津絵ろうそくまつり実行委員会	鈴木・松本、松村
17	会津若松市定住・二地域居住推進協議会	林陵平
18	会津若松市中心市街地活性化協議会	林陵平
19	会津若松市公園緑地協会	林 陵平
20	会津若松市国際交流協会 理事 (1年)	山口 大輔
21	若松城整備審議会 (2年)	深谷 瑞比古
22	教育に関する有識者 担当	鈴木 亮平
23	あいづ食の陣実行委員会	林 陵平
24	社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会委員	深谷 瑞比古
25	八重顕彰事業実行委員会	鈴木 亮平
26	地球にやさしいふくしま県民会議会津地方会議	林 陵平
27	あいづ創生市民会議	鈴木 亮平
28	デジタル未来アート実行委員会	林 陵平
29	あいづまつり協会 理事	鈴木亮平
30	福島県立聴覚支援学校会津校講演会	田中 厚
31	アイズテラス実行委員会	林 陵平
32	司馬遼太郎顕彰委員会	林 陵平
33	サムライシティプロジェクト	林 陵平
34	まちづくり検討部会	林 陵平
35	未来会議	林 陵平

## 出向者報告

出向先名 : 公益社団法人日本青年会議所東北地区

出向先委員会名

および役職 : 広報ブランディング委員会 委員

記入者名前 : 山口大輔

(成果)

東北各地のメンバーと交流することができ、各 LOM の運営等参考になることが多く、今後の運営に取り入れたい事項が得られたこと。

(反省)

仕事で東北青年フォーラムに参加できなかったこと。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

出向は様々な出会いがあります。東北は広く大変な面もありますが楽しい機会となりますので是非積極的に出向してください。

出向先名 : 福島ブロック協議会

出向先委員会名

および役職 : 監査担当役員

記入者名前 : 星 辰典

(成果)

議案書や事業の監査をする役割で、特に事業計画書や事業報告書のコンプライアンスに係る部分に力を入れて監査しました。中間監査や期末監査と都度、東北地区や本会の監査を受けました。お陰様で良い評価を頂きました（おそらく地区では一番良い資料だったと自負しております）

また監査は会員会議所会議の場で講評を述べます。ブロック役員はもとより、18会員会員所の理事長・専務が集まる場ですので、少しでも皆さんに参考になること、学びになることを伝えたかったので、私なりに色々と考え、講評を述べさせていただきました。微力ながら福島ブロック協議会に貢献できたのではないかと考えております。

(反省)

出向を通じて、監査についてコンプライアンスチェックがこんなにも厳しいのかと実感しました。LOMに落とし込むのが中々難しいと感じましたが、監査で学んだことをLOMに還元すべきと感じました。

ブロック役員として、各LOMの新年会や周年式典、各種大会にすべて出席することができませんでした。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

いよいよ2025年度は会津エリアがブロック協議会の事務局となり、ブロック協議会を運営していく立場になります。大変なことが沢山あると思いますが、その分、自身の価値感が変わるきっかけや様々なネットワークが構築できると思います。目的意識をもって自身の成長のために是非出向してみてください！！

出向先名 : 公益社団法人日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会

出向先委員会名

および役職 : アカデミー委員会 副委員長

記入者名前 : 松本 和也

(成果)

- ・委員会での各講師の講演を聞き、モチベーションの向上や視野を広げることができた。
- ・ブロック大会発表に向けた塾会議を定期的開催し、各塾生の成長を感じられた。
- ・次年度、LOM等で委員長や専務理事といった役職を担う塾生を多く輩出できたこと。
- ・ブロック大会成果発表会で最優秀塾賞をいただいたこと。

(反省)

- ・塾生の出席が6割程度であったこと。また、1回も参加していない塾生が数人いた点。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

出向の機会を自身の成長に繋げて欲しいです。出向の機会を活用するもしないも自分自身の判断ですが、出向により得られる出会いや学びの機会を活用してほしいです。

出向先名 : (公社) 日本青年会議所 東北地区福島ブロック協議会

出向先委員会名 アカデミー委員会

および役職 : 幹事

記入者名前 : 若林 信一

(成果)

松本副委員長と塾運営に努めていきました。

塾生が他LOMのメンバーで正直やりづらいなと思っていましたが一人一人が優秀で自分自身もいろいろ刺激になった出向でした。

(反省)

参加が難しい時が多く松本副委員長に迷惑をかけてしまいました。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

出向は自分の為になる事ばかりだと思います。

予定を先読みして出向先に伝えていってください。

出向先名 : (公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会

出向先委員会名

および役職 : アカデミー委員会 委員

記入者名前 : 松村 俊祐

(成果)

今年度のアカデミー委員会では、理念・vision・ダイバシティ(多様性)についての委員会・座談会を行いました。特に県内各地の仲間とブロック大会で発表した「会津の魅力再発見」を協力して楽しくスライドを作成することが出来ました。

・委員会・座談会開催地で初めて訪れる地域が多く、その地の良い点、改善点などを直接学ぶことができました。

(反省)

- ・ブロック大会以降、委員会に参加することが出来ませんでした。
- ・もっと前向きに物事を考えて、委員会に参加すべきでした。
- ・アカデミー委員会で学んだことを、LOM委員会に活かすことが出来ませんでした。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

アカデミー委員会では「青年会議所とは？」から学ぶことができ、県内各地から出向している仲間と交流し情報交換を行うことが出来ます。様々な業種の方と関わることで、自身の知らなかった世界を知るきっかけになり自己成長にも繋がります。出向は、一つの『縁』と『タイミング』だと思います。『タイミング』を見逃さずに出向をして『縁』を紡いでいきましょう。

出向先名 : (公社) 日本青年会議所 東北地区福島ブロック協議会  
出向先委員会名 アカデミー委員会  
および役職 : 委員  
記入者名前 : 添田 将

(成果)

(反省)

集まり等参加できず大変申し訳ございませんでした。参加できる時は参加するという形でしたが、うちは小さい会社で土日は打ち合わせや商談、契約、現場確認、納骨、開眼供養、魂抜き、引き渡しなど土日に集中している状況の中、少ない人数でなんとか回しているという状態なので、市内で2時間とかなら時間取れましたが、市外で移動時間など考えるとやはり参加が難しかったです。従業員から仕事とどちらが大事か問われた事があり、まずは社内での理解を得られる努力を怠ったことも反省点です。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

頑張ってください!

出向先名 : (公社) 日本青年会議所 東北地区福島ブロック協議会  
出向先委員会名  
および役職 : 福島の未来創造委員会 委員  
記入者名前 : 栗城 宏修

(成果)

ブロック大会「防災減災でニコリ～伝えて・遊んで・学ブース～」でのモグラたたきブース担当、福島の「地宝のMIRYOKU」フェスでの広報担当を行いました。今年の出向では今まで同じ委員会になった方がいなく、新しい人脈を広げることができました。委員会の皆様には優しく接していただき楽しく活動できましたし、来場していただいた方々も喜んでいただけたのでとても有意義な出向になりました。このような機会をいただきありがとうございました。

(反省)

最初の委員会数回は日時伝達がされていなく参加することができませんでした。また、現地参加は難しく、Webでの参加となりました。JCカップ福島大会は予定が合わず参加できませんでした。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

JCカップは毎年行われる事業ですので、是非サッカー好き、スポーツ好きな方の出向をおすすめします。

出向先名 : 福島ブロック協議会  
出向先委員会名  
および役職 : ブロック大会実行委員会 委員  
記入者名前 : 田中 厚

(成果)

委員会メンバーと多く繋がることできた。

他 LOM の熱量に触れることできた。

(反省)

特になし。楽しめました。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

年間通してというよりは7月に集中して活動できるので、おススメです。

出向先名 : 福島ブロック協議会  
出向先委員会名 : ブロック大会実行委員会  
および役職 : 委員  
記入者名前 : 鈴木 亮平

(成果)

本年度、猪苗代の地でブロック大会が開催され会津エリアとしても全力で支援していきたいと昨年から感じていました。

ブロック大会実行委員会とは別に猪苗代 JC の実行委員会の会議にも参加させていただき、出来る限りの支援は出来たと感じました。

また、猪苗代 JC やブロック大会実行委員会の人たちの頑張りを近くで見させてもらい、刺激をもらい、自分自身いい経験になりました。

(反省)

反省点はもっと会津 JC の会員を巻き込みたかったということ。

自分自身でもっと動ける部分はあったのではと後悔してます。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

誰かのために出向したくなるようにもっと県内各地の JC と会う機会を増やして欲しい。

出向先名 : 福島ブロック協議会  
出向先委員会名 : 組織連携推進委員会  
および役職 : 委員  
記入者名前 : 遠藤 和輝

(成果)

- ・福島県内で JC として活動するメンバーとつながりができた。
- ・福島ブロック大会でのブース展開を機に、猪苗代で活動する団体の皆様とも強固につながることができた。
- ・福島ブロック大会でのリジェネラティブに関わるディスカッションのコーディネーターという機会をいただき、模範となれるような対応ができた。

(反省)

- ・委員会への参加が少なかった。  
(しっかりとスケジュール管理ができるようにしなければと反省)
- ・委員会の活動内容を把握できていない場面が多々あった。  
(共有された資料を確認する時間、わからない場合には積極的に聞きに行く姿勢が必要であったと反省)

(次年度出向者へ伝えたいこと)

- ・1回の会議と1回の懇親会、そして委員会の1議案をしっかりと読んでみることを最低ラインとして取り組んでみてください。(何もやらないことは何の足しにもなりません。)
- ・福島県内の JC メンバーと、顔と名前がわかる関係になることで、人とのつながりに助けられる場面が増えます。(JC でも仕事でも)

機会は、与えてもらえることが最初のチャンスであり、その機会を活かせるかどうかは自分が決めることができる。やってみることも時には必要ではないかなと思います。

出向先名 : (公社) 日本青年会議所 東北地区福島ブロック協議会

出向先委員会名

および役職: 総務委員会 幹事

記入者名前 : 深谷 瑞比古

(成果)

できるだけ日程を調整して参加するように心がけた。

委員会には多く参加した。

(反省)

事業そのものには、仕事との折り合いがつかず参加が叶わないことが多くあった。

(次年度出向者へ伝えたいこと)

自分の仕事などで、どうしても参加できないところもあると思うが、まずは自分の出向している委員会にきちんとその旨を連絡することが大事だと思う。

## 褒賞委員会

委員長 鈴木亮平  
副委員長 遠藤和輝  
委員 栗城宏修  
委員 松本和也  
委員 山口大輔

### ◆ 委員長所感

2023年度を振り返ると、林理事長が掲げる「ともに成長しよう！未来のために～地域課題の解決の鍵は自己成長～」のスローガンに則った、素晴らしい事業がたくさん実施されてきました。

新しく入会した会員も積極的に委員会に参加して活躍をし、初の理事を受けたメンバーも試行錯誤しながら一生懸命その責務を全うしていました。さらに、副委員長をはじめとした理事以外のメンバーもこれまでのJC活動を通して学んだことを活かし、委員会や出向、大会といった様々な機会を通して、多くの経験を学んでいる姿を見ることが出来ました。

褒章に際し、委員長陣に面談を行った際も、たくさんの会員に支えられながら、一年間JC活動・運動を展開できたことを改めて実感できるものとなり、非常に有意義な一年であり、会津青年会議所として、会員一丸となって成長できたものであると確信できました。また、褒章委員会メンバーからも、この人はぜひ褒章しようという非常に前向きな意見も出され、褒章委員会のメンバーがしっかりと会員の活躍を見守っていたことが非常にいいことであり、委員長として非常にうれしく思いました。

最後に、本年褒章された皆様がこれからますます活躍されること、そして会員が一丸となってこれからも活動・運動できる団体であり続けることを祈願いたします。

一年間大変お疲れ様でした。

### ◆ 付託

2023年2月7日（月） 第3回理事会

委員会開催 2023年4月5日（火） 場所 会津青年会議所会館

委員会開催 2023年11月2日（水） 場所 会津青年会議所会館

### ◆ 答申理由

2023年4月6日（水） 第5回理事会

2023年10月28日（金）16時締切の褒賞申請資料及び年間活動アルバムをもとに2023年10月28日（金）会津青年会議所会館において各委員会から提出のあつ

た申請書並びに年間活動アルバムをもとにヒアリングを行い、公益社団法人会津青年会議所褒賞規定に基づき、褒賞対象者を選出し、推薦者の一員でもある理事長のご確認を頂き褒賞受賞者・受賞委員会を決定させて頂く旨の答申を行った。

2023年11月7日（月） 第12回理事会

2023年11月2日（水）会津青年会議所会館において各委員会各委員会から提出のあった申請書並びに年間活動アルバムをもとにヒアリングを行い、公益社団法人会津青年会議所褒賞規定に基づき、褒賞対象者を選出した結果の答申を行った。

1) 委員会賞

優秀委員会賞 総務委員会

優秀委員会賞 地域委員会

2) 個人賞

最優秀個人賞 深谷 瑞比古 君

優秀個人賞 大里 正樹 君（サポーター）

3) 新人賞

該当なし

## J C 会館管理委員会

委員長 栗城 宏修

副委員長 山口 大輔

委員 明田 圭右（OB）

### ◆委員長所感

会員の減少に伴い、これまでにないほどの予算の削減や見直しが迫られているなかで、会館の管理についても、今後の自動販売機の在り方など、細かいところまで考えていかなければならない状況となっています。しかし、なかなか踏み込んで決断するところまでには至らず、先送りになってしまったことをお詫びいたします。

次年度以降は、節電や、用紙の節約など、会員一人ひとりの意識改革が特に必要になってくると感じました。そういった意識付けによって捻出された費用が、管理や修繕などに回され、会の好循環に繋がると思います。

◆付託

2023年2月7日 第3回理事会

◆委員会開催

2023年3月30日 会津青年会議所会館にて開催

◆答申内容

2023年4月6日 第5回理事会

1. 会館管理規定について

(ア) 会館管理規定については、変更は不要であると判断した。

2. 会館管理規定細則について

(ア) 会館管理規定細則については、変更は不要であると判断した。

3. 昨年からの申し送り事項について

(ア) 例年通りお盆時期に1回、年末に1回の会館大掃除は必要です。

⇒例年通り開催する。

(イ) 部屋を仕切るアコーディオンカーテンの修繕が必要です。

⇒検討し、見積もりを取得のうえ進めます。

(ウ) 除雪作業に関して、会員同士で連携をして行う。

⇒専務、事務員と連絡を取りながら、会員同士協力をして早急に対処するようにする。

(エ) 夏季の除草については、定期的に行う必要がある。

⇒会員同士協力し合いながら、除草剤も定期的に使ひ、日頃から草が生い茂る状態を未然に防ぐようにする。

(オ) 今回答申された内容について捻出可能な予算に合わせて当年度の専務及び事務局主導のもと、総務委員会にて実施する。また、次年度への引継ぎ事項として、10月中に委員会を開催し、最終理事会にて次年度への申し送り事項を上げる。

4. 会館内利用状況について

(ア) 自動販売機を会館の外に設置する案が出ている。

⇒館内に設置している自動販売機は、電気代の面から会計を圧迫しているのも現状で、外に設置する案は前向きに検討する必要がある。

(イ) 使用できない備品の整理に関して、選別して処分することを検討すべきである。

⇒昨年に引き続き、整理整頓、処分の検討をする。

5. 会館外利用状況について

(ア) 例会時、事業時は必ず借用先に事前に連絡をし、駐車場借用書を提出

して注意事項を会員に周知徹底する必要がある。

## 6. その他

(ア) 次年度のために、年度末には、事前に委員会を開催したうえで最終理事会にて次年度への申し送り事項を報告する。

### 会員資格審議委員会

委員長 栗城 宏修

副委員長 星 直範

委員 深谷瑞比古

委員 堺野 美将

#### ◆ 委員長所感

本年度は拡大目標を10名としておりましたが、サポート会員2名の入会にとどまりました。会員が年々減少している状況のなかいかに会全体で会員拡大のモチベーションを維持できるのかを念当初考えました。

そこで入会までを逆算して拡大活動が出来るよう原則入会月を3、6、9月とさせていたしましたが、現実に入会熱が高いうちに入会させたいということもあり各月での入会となりました。それ以上に毎月委員会を開く予定ではあったがなかなか開くことがかなわず、そのことが会員拡大がうまくいかなかった理由の一つであると反省しました。今年は6名卒業となったため、会津青年会議所を存続させるためにも影響力のある運動を展開するためにも次年度は会員拡大を成功させなければいけません。

最後に、鈴木理事長をはじめとする候補者への声掛け・情報提供など会員拡大にご協力いただきました会員の皆様に感謝申し上げ、委員長所感とさせていただきます。

#### ◆ 付託

2022年11月25日 第3回理事会

#### ◆ 答申内容

2023年8月8日 第9回理事会

#### 1) 入会受付期間について

原則は3月、6月、9月を入会月とすることを前提とする。

理由①何月までに入会させるにはいつまでに声掛け、例会・事業への参加をしな

ければいけないのかを逆算をして計画的に進めていく意識を統一させるため

②同期入会でも同じ理事会で入会した方が新入会員の結束・同期意識が高まると

考えるため

ただし、例外として入会意思が高い入会候補者がいる場合は上記の月に関わらず入会を審議することを認める。四役会、会員資格審議委員会で同意が得られる場合に限る。

## 2) 会員拡大に関する事項

### (1) 入会条件に関して

1 例会参加と1事業もしくは1委員会の参加を入会条件とする。

理由 これまでは1事業、2例会を条件としていたが候補者の都合もあり、参加できない事業があると入会条件を満たすまでに4～5か月かかってしまうことがある。当会議所でも会員減少は深刻な問題であり、早期に入会してもらい即戦力となる会員を育てていきたいと考えるため。

### (2) 入会オリエンテーションの開催に関して

入会前の開催もしくは入会后2ヶ月以内に開催する。

理由 近年候補者が集まらず開催していない状況である。2ヶ月猶予を持つことで1人や2人といった少人数でなく、5～6名程度まとまった人数で開催できる。

## 3) サポーター会員について

これまでサポーター会員についての定義についてはこちらを確認下さい。(2020年度会員資格審議委員会答申より)

### (1) 2年運営してきて見えてきた課題

- ・原則2年としていたがサラリーマンに関して正会員になるのは難しい
- ・自分の給料から会費を捻出しなければならない。(実際は会費以上に出費が多いのが事実)
- ・会社員である以上勤務時間の制約があり、時間の調整ができない。
- ・参加意欲の薄い人(参加率が低い)でも残れてしまう。
- ・現在会津青年会議所では会員数の減少によりサポーター会員がいないと人員が不足するのが現状。

### (2) 来年からの対応

サポーター会員規定を明確に定め、入会時に説明し、継続に期限を設けることでサポーター会員の活性化を図る。

◆サポーター会員の入会条件

サラリーマン（経営者の親族関係にない）であること。

サポーター年会費（25,000円）を年度初めに支払う。

入会時36歳以下である。

◆サポーター会員の継続条件

年度末に三役・四役と面談を行い、理事会で審議を図る。

継続は2年迄とする。

- ① 例会(事業)参加率60%以上(ブロック事業は含まないが総会は含む)
- ② 所属委員会出席率60%以上

(3) その他

- ・サポーター会員は最大で4名までを上限とする。
- ・入会申込書にはそれぞれの入会、継続要件を記載したもので今後は記載してもらう。別紙参照

(4) その他

会員拡大会議は月1回程度を目安に短時間で開催し、参加してくれた会員が学びを得られるような内容に設えを作るようにする。

以上

## 9. 備品明細

品名	数	備品 NO.	摘要
J C ゴング	1	NO. 1	
手提金庫	2	NO. 2 、 91	
黒板	2	NO. 11 、 39	
スチール書庫	3	NO. 14 、 56、 78	
カメラ (ヤシカエレクトロ35)	1	NO. 18	
スチールロッカー	3	NO. 20 、 21、 42	寄贈品
J C 旗	5	NO. 22	
国旗	9	NO. 23	
スチール書棚	2	NO. 24 、 25	
スチール書庫	5	NO. 26 、 27、 46、 48	記念品
計量機	2	NO. 29 、 116	
ラジオ付カセットテープレコーダー	1	NO. 31	寄贈品
チェックライター	1	NO. 33	
腕章	83	NO. 34	
印伴天	20	NO. 35	
会議用スチール机	2	NO. 36 、 37	記念品
拡声装置付演台	1	NO. 40	寄贈品
スチール更衣ロッカー	1	NO. 44	
賞状盆	1	NO. 47	
ワッペン帽子	12	NO. 49	
映写機 (エルモ S T - 1200)	1	NO. 52	記念品
スチール椅子	1	NO. 54	
スチール椅子	67	NO. 55	寄贈品
暖房機	3	NO. 57 、 125、 126	寄贈品
木製机	3	NO. 58 、 93、 94	
スチール書庫	1	NO. 59	寄贈品
折りたたみスチール机	15	NO. 60	
応接セット	一式	NO. 63	記念品
スリッパ	150	NO. 64	
瞬間湯沸機	1	NO. 65	寄贈品
紙断裁機	1	NO. 66	寄贈品
クーラー	1	NO. 67	寄贈品
新聞架	1	NO. 69	
アルミサッシ 網戸一式	1	NO. 70	
傘立	1	NO. 71	寄贈品
折りたたみスチール机	2	NO. 72	寄贈品
案内板	1	NO. 73	記念品
カメラ (フジカオートフォーカス)	1	NO. 77	寄贈品
レターケース (7段組)	2	NO. 79 、 81	
スチール製書庫	1	NO. 80	
ビクターアンプ拡声装置	一式	NO. 83	寄贈品
J C 旗パネル	1	NO. 84	寄贈品
国旗パネル	1	NO. 85	寄贈品
スチール椅子	60	NO. 86	寄贈品
大型耐火金庫	1	NO. 86	寄贈品
パネル時計	1	NO. 87	寄贈品
拡声機	1	NO. 88	寄贈品
ネームプレート収納板	1	NO. 89	
掃除機	1	NO. 90	寄贈品
スクリーン	1	NO. 92	
布バリ椅子	1	NO. 95	記念品
携帯用テープレコーダー	1	NO. 97	
携帯用テープレコーダー	1	NO. 98	寄贈品
石油ストーブ	2	NO. 99 、 100	記念品
投票箱	1	NO. 105	
折りたたみスチール椅子	32	NO. 106	
ホワイトボード	1	NO. 107	
ワードプロセッサースタンド	1	NO. 108	
回転帳簿立	1	NO. 111	
カーテン一式	19	NO. 112	

品名	数	備品 NO.	摘要
冷蔵庫	1	NO. 115	寄贈品
パソコンディスプレイ (H11寄贈)	1	NO. 120	寄贈品
パソコンラック	1	NO. 122	
印刷機	1	NO. 123	寄贈品
ビデオモニター	一式	NO. 127	
カメラ (コニカ)	1	NO. 132	
OHPスクリーン	1	NO. 134	
カメラ	1	NO. 135	寄贈品
エアコン 応接室	1	NO. 136	寄贈品
レーザープリンター	1	NO. 138	寄贈品
ラック	1	NO. 139	寄贈品
アンプ	1	NO. 140	寄贈品
カラーテレビ	1	NO. 141	寄贈品
MOドライブ	1	NO. 142	
デジタルカメラ (オリンパス)	1	NO. 143	
インクジェットプリンター (CANON)	1	NO. 144	
ISDNターミナルアダプタ	2	NO. 145	、56、78
折りたたみスチール机	1	NO. 146	寄贈品
テープレコーダー	1	NO. 147	
デジタルビデオカメラ一式	1	NO. 148	
パソコン (H15寄贈)	1	NO. 149	寄贈品
折りたたみスチール椅子	16	NO. 150	寄贈品
LAN折りたたみスチール机	7	NO. 151	
ICレコーダー	1	NO. 153	
パソコン 本体	1	NO. 154	寄贈品
パソコンディスプレイ	1	NO. 155	寄贈品
会議用暖房機	1	NO. 156	
プロジェクター	1	NO. 157	
トランシーバー	一式	NO. 158	
デジタルビデオ	3	NO. 159	
シュレッダー	3	NO. 160	
半天 (公社) 会津青年会議所	50	NO. 162	寄贈品
のぼり (公社) 会津青年会議所	30	NO. 163	寄贈品
のぼり用ポール	30	NO. 164	寄贈品
外付けハードディスク	1	NO. 165	
ノートパソコン	1	NO. 166	H26寄贈品
プリンター	1	NO. 167	H26購入
一眼レフカメラ	一式	NO. 168	H27購入
JCバックボード	1	NO. 169	R3寄贈品

公益社団法人 会津青年会議所

2023年度 会計決算報告

収入の部			2023年度 予算	2023年度 修正予算	2023年度 決算	差異	摘要	
大	中	小						
事業活動収入	① 基本財産運用収入	基本財産利息収入	226	226	226	0	基本財産の受取利息	
		特定資産利息収入	44	44	21	-23	特定資産の受取利息	
	② 特定資産運用収入	受取入金金収入	650,000	130,000	0	-130,000	¥65,000×0人	
	④ 会費収入	正会員年会費収入	正会員年会費収入	3,125,000	3,125,000	3,125,000	0	¥125,000×25人
			新入年会費収入	600,000	40,000	0	-40,000	賛助会員なし
			賛助別年会費収入	0	0	0	0	
			特別年会費収入	40,000	20,000	40,000	20,000	¥20,000×2人(2022年度卒業生2名)
			サポーター年会費収入	75,000	75,000	100,000	25,000	¥25,000×4人
			計	3,840,000	3,260,000	3,265,000	5,000	
	⑤ 事業収入	事業費繰入収入	登録料収入計	15,000	14,500	78,500	64,000	
			わんぱく相撲登録料	15,000	14,500	14,000	-500	500円×28人=合計14,000円
			地域委員会	0	0	64,500	0	絵ろうそくまつり給付け体験費用
			総務事業	0	0	0	0	
			三役事業	0	0	0	0	
			広告費収入	0	0	0	0	
			販売収入	0	0	0	0	
			業務委託収入	50,000	50,000	50,000	0	OB会事務委託費 50,000円
			家賃・会議室料収入	0	0	0	0	
			雑収入	0	0	0	0	
			計	65,000	64,500	128,500	64,000	
⑥ 補助金等収入			国庫補助金収入	地方公共団体補助金収入	200,000	0	0	0
	民間補助金収入	3,000,000		2,525,586	2,461,086	-64,500	会津絵ろうそくまつり実行委員会(絵ろうそくまつり補助金として)	
	地方公共団体助成金収入	0		0	0	0		
	民間助成金収入	0		0	0	0		
	計	3,200,000		2,525,586	2,461,086	-64,500		
⑦ 寄付金収入	寄付金収入	募金収入	40,000	710,000	720,000	10,000	OB協賛金として	
		計	40,000	710,000	720,000	10,000		
⑧ 雑収入	受取利息収入	受取利息収入	0	10	8	-2		
		その他雑収入	34,730	34,730	26,886	-7,844	自動販売機26,886(本年度撤去)	
⑨ 他会計からの繰入金収入	一般会計からの繰入金収入	一般会計からの繰入金収入	0	0	0	0		
		特別会計からの繰入金収入	0	0	1,310,745	1,310,745	照明器具交換(105,000)赤字補填(210,245)	
事業活動収入計	基金会計からの繰入金収入	基金会計からの繰入金収入	0	0	0	0		
		計	0	0	1,310,745	1,310,745		
事業活動収入計			7,830,000	6,725,096	7,912,472	1,187,376		

支出の部		2023年度 予算	2023年度 修正予算	2023年度 決算	差異	備	考
大	中						
科	科目						
目	目						
目	目						
①	事業費支出						
	＜三役＞	0	0	0	0	7月例会 ブロック大会	
		0	0	0	0	9月例会 参加上昇セミナー	
	小計	0	0	0	0		
	＜総務委員会＞	150,000	159,140	159,140	0	1月例会 新年会	
		50,000	9,900	9,900	0	4月例会 会員の資質向上セミナー	
		50,000	30,000	19,500	-10,500	11月例会 納会	
	小計	250,000	199,040	188,540	-10,500		
	＜青少年委員会＞	100,000	139,400	55,207	-84,193	3月例会 スケート事業	
		250,000	325,000	223,337	-101,663	5月例会 わんぱく相撲	
		200,000	50,000	0	-50,000		
	小計	550,000	514,400	278,544	-235,856		
	＜地域委員会＞	3,000,000	2,525,586	2,525,586	0	2月例会 会津絵ろうそくまつり	
		60,000	40,892	40,892	0	6月例会 地域課題に取り組む事業	
		400,000	120,000	45,299	-74,701	10月例会 石垣を守る事業	
	小計	3,460,000	2,686,478	2,611,777	-74,701		
	委員会運営費支出	0	0	0	0		
	事業予備費支出	0	0	0	0		
	合計	4,260,000	3,399,918	3,078,861	-321,057		
②	管理費支出						
	給料手当	741,840	780,000	736,524	-43,476	事務局員費(191日・基本給・残業・交通費等)	
	退職給付費用	0	0	0	0		
	福利厚生費	8,900	14,000	15,132	1,132	労働保険料	
	会議費	6,300	5,835	3,780	-2,055	総会兼書代	
	旅費交通費	6,340	5,000	0	-5,000		
	通信運搬費	262,477	230,000	247,120	17,120	電話電報代・年賀状・FAX代・切手代・PC等	
	減価償却費	277,518	277,518	277,518	0	火災保険料	
	消耗什器備品費	0	0	0	0		
	消耗品	100,000	70,000	65,017	-4,983	E・F・G・用紙・印鑑他	
	修繕費	0	0	638,000	638,000		
	印刷製本費	240,000	210,000	206,800	-3,200	会員手帳	
	燃料費	50,000	30,000	25,124	-4,876	灯油代	
	光熱水料費	350,000	320,000	301,109	-18,891	電気・ガス・水道代	
	賃借料	378,191	450,000	419,444	-30,556	地代、コピー・複写料、AEDリース料	
	保険料	47,900	47,900	47,900	0		
	諸謝金	0	0	0	0		
	租税公課	0	0	0	0		
	渉外旅費	30,000	30,000	20,000	-10,000	登録料・収入印紙代	
	業務委託費	150,000	140,000	149,336	9,336	わんぱく・普費・祝電・贈祝・協賛	
	広報	30,000	20,000	77,660	57,660	Web管理費等・A50K・ホームページ作成運賃	
	記念品	0	0	0	0	年賀及び一般広告代	
	雑費	100,000	55,000	96,486	41,486	振込振替手数料・新聞代	
	管理・運営予備費	0	0	0	0	新入会員関連・Web・歴代理事長備品	
	計	2,799,475	2,685,253	3,326,950	641,697		
③	負担金						
	支払い・協賛負担金	0	0	0	0		
	J C I 負担金	59,150	59,150	40,300	-18,850	①1,612×25名	
	日本 J C 負担金	30,000	30,000	30,000	0	基本金30,000 (50人以下予定のため)	
	日本 J C 付加金	175,000	135,000	125,000	-10,000	付加金⑤5,000×25人	
	日本 J C 出向者負担金	20,000	20,000	20,000	0	基本金②20,000×1名	
	東北地区協議会負担金	5,000	5,000	5,000	0	基本金5,000	
	東北地区協議会付加金	52,500	40,500	37,500	-3,000	付加金①1,500×25人	
	東北地区協議会出向者負担金	10,000	10,000	0	-10,000		
	福島ブロック協議会負担金	35,000	35,000	35,000	0	基本金35,000	
	福島ブロック協議会付加金	175,000	135,000	125,000	-10,000	付加金⑥5,000×25人	
	国際協力費	63,875	49,275	45,625	-3,650	①1825×25人	
	関係諸料	105,000	81,000	75,000	-6,000	We Believe購読料③3,000×25名	
	計	730,525	599,925	538,425	-61,500		
④	他会計への繰入金支出						
	一般会計への繰入金支出	0	0	0	0		
	特別会計への繰入金支出	0	0	369,265	369,265		
	基金会計への繰入金支出	40,000	40,000	40,000	0	②20,000×2人	
	計	40,000	40,000	409,265	369,265		
⑤	その他支出						
	計	0	0	0	0		
	事業活動支出計	7,830,000	6,725,096	7,353,501	628,405		
	事業活動収支差額	0	0	558,971	558,971		

右





正味財産増減計算書内訳

(単位: 円)

科目名	公益目的事業等会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計		
	公1 地域の発展に 寄与する事業	公2 青少年育成 事業	公3 その他公益目 的の事業	共通	小計	他1 会員の買取り 上事業	他2 会員間並びに 諸団体の交流 事業	他3 会員の 拡大を 図る事業	共通	小計					
1 経常増減の部															
(1) 基本増減															
基本財産運用益	0	0	0	226	226	0	0	0	0	0	0	0	0	226	
基本財産受取利息	0	0	0	226	226	0	0	0	0	0	0	0	0	226	
基本財産売却配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
基本財産売却賃貸料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	21	
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	21	
特定資産売却配当金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特定資産売却賃貸料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取人会費	0	0	0	0	0	0	0	0	180,000	180,000	-180,000	0	0	0	
受取人会費	0	0	0	0	0	0	0	0	180,000	180,000	-180,000	0	0	0	
受取会費	0	0	0	493,000	493,000	0	178,640	0	92,629	271,269	2,425,731	0	0	3,265,000	
正会員会費	0	0	0	247,000	247,000	0	178,640	0	92,629	271,269	2,006,731	0	0	3,125,000	
新入会員会費	0	0	0	246,000	246,000	0	0	0	0	0	-246,000	0	0	0	
賛助会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別会員会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40,000	0	0	40,000	
サポート会員会費	0	0	0	75,000	75,000	0	0	0	0	0	25,000	0	0	100,000	
事業収益	84,500	14,000	0	0	78,500	0	0	0	0	0	50,000	0	0	128,500	
登録料収益	84,500	14,000	0	0	78,500	0	0	0	0	0	0	0	0	78,500	
懇親会費収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
広告料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
販売収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
専務役員経費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50,000	0	0	50,000	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取補助金等	2,461,086	0	0	0	2,461,086	0	0	0	0	0	0	0	0	2,461,086	
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取民間補助金	2,461,086	0	0	0	2,461,086	0	0	0	0	0	0	0	0	2,461,086	
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取補助金等振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取負担金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取寄付金	88,191	264,344	0	0	350,735	0	0	0	0	0	0	0	0	350,735	
現金寄付金	88,191	264,344	0	0	350,735	0	0	0	0	0	0	0	0	350,735	
基金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	390,158	0	0	390,158	
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別会計からの繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	369,265	0	0	369,265	
基金会計からの繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,896	0	0	26,896	
(2) 経常費用計	2,611,777	278,544	0	493,226	3,498,709	0	178,640	0	272,629	451,269	2,691,911	0	0	6,001,722	
寄附費	2,850,804	846,105	0	0	3,496,709	52,744	232,965	0	0	285,709	0	0	0	3,782,418	
給料手当	79,729	122,705	0	0	202,434	18,413	18,413	0	0	36,826	0	0	0	239,260	
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
福利厚生費	1,638	2,521	0	0	4,159	378	378	0	0	756	0	0	0	4,915	
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
旅費交通費	0	9,420	0	0	9,420	0	0	0	0	0	0	0	0	9,420	
通信運搬費	27,003	41,170	0	0	68,173	8,178	57,628	0	0	63,806	0	0	0	131,979	
減価償却費	30,041	46,234	0	0	78,275	8,938	6,838	0	0	13,876	0	0	0	90,151	
消耗什器備品費	0	33,000	0	0	33,000	0	0	0	0	0	0	0	0	33,000	
消耗品費	964,156	24,899	0	0	989,055	1,625	20,294	0	0	21,919	0	0	0	1,010,974	
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
印刷製本費	4,460	27,587	0	0	32,047	0	85,690	0	0	85,690	0	0	0	117,737	
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
光熱水料費	32,593	50,165	0	0	82,758	7,528	7,528	0	0	15,056	0	0	0	97,814	
賃借料	52,005	114,889	0	0	166,894	10,486	32,486	0	0	42,972	0	0	0	209,866	
保険料	93,165	26,105	0	0	119,270	1,198	1,198	0	0	2,396	0	0	0	121,666	
雑謝金	10,000	3,300	0	0	13,300	0	0	0	0	0	0	0	0	13,300	
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
渉外費	303,640	83,000	0	0	386,640	0	0	0	0	0	0	0	0	386,640	
業務委託費	1,057,540	11,720	0	0	1,069,260	0	0	0	0	0	0	0	0	1,069,260	
広報費	175,277	0	0	0	175,277	0	0	0	0	0	0	0	0	175,277	
記念品費	0	32,290	0	0	32,290	0	0	0	0	0	0	0	0	32,290	
雑費	19,355	17,050	0	0	36,405	0	2,412	0	0	2,412	0	0	0	38,817	
管理・運営予備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
国際青年会議所負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本青年会議所負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
国際協力基金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
管理費											3,151,087	0	0	3,151,087	
給料手当											497,264	0	0	497,264	
退職給付費用											0	0	0	0	
福利厚生費											10,217	0	0	10,217	
会議費											3,780	0	0	3,780	
旅費交通費											0	0	0	0	
通信運搬費											166,843	0	0	166,843	
減価償却費											187,367	0	0	187,367	
消耗什器備品費											0	0	0	0	
消耗品費											43,897	0	0	43,897	
修繕費											638,000	0	0	638,000	
印刷製本費											206,800	0	0	206,800	
燃料費											25,124	0	0	25,124	
光熱水料費											203,293	0	0	203,293	
賃借料											283,188	0	0	283,188	
保険料											32,339	0	0	32,339	
雑謝金											0	0	0	0	
租税公課											0	0	0	0	
渉外費											20,000	0	0	20,000	
業務委託費											149,336	0	0	149,336	
広報費											77,660	0	0	77,660	
記念品費											0	0	0	0	
雑費											67,554	0	0	67,554	
支払い・借入金											0	0	0	0	
日本青年会議所負担金															

科目名	公益目的事業等会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計	
	公① 地域の発展に 寄与する事業	公② 青少年育成 事業	公③ その他公益目 的事業	共通	小計	他① 会員の資質向 上事業	他② 会員間並びに 諸団体との交 渉事業	他③ 会員の 拡大を 図る事業	共通	小計				
2 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借地権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用														
固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借地権売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期末一般正味財産増減額	-238,827	-387,581	0	483,226	-38,182	-52,744	-54,275	0	272,629	165,560	-459,376	0	-521,778	
一般正味財産期首残高	0	0	0	13,544,884	13,544,884	0	0	0	608,402	608,402	1,374,065	0	15,527,451	
一般正味財産期末残高	-238,827	-387,581	0	14,038,210	13,506,822	-52,744	-54,275	0	881,031	773,962	914,689	0	15,195,673	
Ⅱ 指定正味財産増減の部														
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取基金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取基金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	-238,827	-387,581	0	14,038,210	13,506,822	-52,744	-54,275	0	881,031	773,962	914,689	0	15,195,673	

# 正味財産増減計算書

2023年11月30日現在

(単位:円)

科目名	当年度	前年度	増減	適用
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
(1) 経常収益				
<b>基本財産運用益</b>	<b>226</b>	<b>226</b>	<b>0</b>	
基本財産受取利息	226	226	0	定期預金(東邦銀行)
基本財産受取配当金			0	
基本財産受取賃貸料			0	
<b>特定資産運用益</b>	<b>21</b>	<b>44</b>	<b>△ 23</b>	
特定資産受取利息	21	44	△ 23	定期預金(東邦銀行)
特定資産受取配当金			0	
特定資産受取賃貸料			0	
<b>受取入会金</b>	<b>0</b>	<b>260,000</b>	<b>△ 260,000</b>	
受取入会金	0	260,000	△ 260,000	@65,000×0人
<b>受取会費</b>	<b>3,265,000</b>	<b>3,170,000</b>	<b>95,000</b>	
正会員会費	3,125,000	2,875,000	250,000	@125,000×25人
新入会員会費	0	200,000	△ 200,000	0
賛助会員会費	0	0	0	
特別会員会費	40,000	20,000	20,000	@20,000×2人(2022年度卒業生2名)
サポーター会員会費	100,000	75,000	0	@25,000×4人
<b>事業収益</b>	<b>128,500</b>	<b>585,181</b>	<b>△ 456,681</b>	
登録料収益	78,500	524,340	△ 445,840	500円×28人=合計14,000円
懇親会費収益	0	0	0	
広告料収益	0	0	0	
販売収益	0	0	0	
事務局受託収益	50,000	50,000	0	OB会事務委託費 50,000円
雑収益	0	10,841	△ 10,841	
<b>受取補助金等</b>	<b>2,461,086</b>	<b>2,781,863</b>	<b>△ 320,777</b>	
受取国庫補助金	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	0	350,000	△ 350,000	
受取民間補助金	2,461,086	2,431,863	29,223	会津絵ろうそくまつり実行委員会 (絵ろうそくまつり補助金として)
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
受取補助金等振替額	0	0	0	
<b>受取負担金</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金振替額	0	0	0	
<b>受取寄付金</b>	<b>350,735</b>	<b>75,000</b>	<b>275,735</b>	
受取寄付金	350,735	75,000	275,735	OB協賛金として
募金収益	0	0	0	0
受取寄付金振替額	0	0	0	
<b>雑収益</b>	<b>396,159</b>	<b>52,822</b>	<b>343,337</b>	
受取利息	8	8	0	
特別会計からの繰入金収入	369,265	0	369,265	照明器具交換(638,000)赤字補填(672,745)
雑収益	26,886	52,814	△ 25,928	自動販売機26,886(本年度撤去)
<b>経常収益計</b>	<b>6,601,727</b>	<b>6,925,136</b>	<b>△ 323,409</b>	

科目名	当年度	前年度	増減	適用
(2) 經常費用				
事業費	3,831,026	5,164,114	△ 1,333,088	
給料手当	239,260	366,399	△ 127,139	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	4,915	4,519	396	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	9,420	32,540	△ 23,120	
通信運搬費	131,979	212,535	△ 80,556	
減価償却費	138,759	138,759	0	
消耗什器備品費	33,000	6,600	26,400	
消耗品費	1,010,974	2,317,985	△ 1,307,011	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	117,737	430,650	△ 312,913	
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	97,816	126,543	△ 28,727	
賃借料	209,866	377,177	△ 167,311	
保険料	121,666	52,921	68,745	
諸謝金	13,300	97,872	△ 84,572	
租税公課	0	0	0	
渉外費	386,640	486,650	△ 100,010	
業務委託費	1,069,310	174,603	894,707	
広報費	175,277	33,000	142,277	
記念品費	32,290	268,792	△ 236,502	
雑費	38,817	36,569	2,248	
管理・運営予備費	0	0	0	
負担金	0	0	0	
			0	
			0	
管理費	3,102,479	2,413,767	688,712	
給料手当	497,264	549,597	△ 52,333	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	10,217	6,780	3,437	
会議費	3,780	0	3,780	
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	166,843	144,536	22,307	
減価償却費	138,759	138,759	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	43,897	34,344	9,553	
修繕費	638,000	0	638,000	
印刷製本費	206,800	206,800	0	
燃料費	25,124	23,132	1,992	
光熱水料費	203,293	189,815	13,478	
賃借料	283,188	316,656	△ 33,468	
保険料	32,339	28,739	3,600	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
渉外費	20,000	30,000	△ 10,000	
業務委託費	149,336	149,336	0	
広報費	77,660	0	77,660	
記念品費	0	0	0	
雑費	67,554	55,548	12,006	
管理・運営予備費	0	0	0	
負担金	538,425	539,725	△ 1,300	
基本財産評価損益等	0	0	0	
基本財産評価損益等			0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等			0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
經常費用計	6,933,505	7,577,881	-644,376	
評価損益等調整前当期經常増減額	-331,778	-652,745	320,967	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期經常増減額	-331,778	-652,745	320,967	

科目名	当年度	前年度	増減	適用
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
建物売却益			0	
車両運搬具売却益			0	
什器備品売却益			0	
土地売却益			0	
借地権売却益			0	
電話加入権売却益			0	
固定資産受贈益	0	0	0	
土地受贈益			0	
投資有価証券受贈益			0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
建物売却損			0	
車両運搬具売却損			0	
什器備品売却損			0	
土地売却損			0	
借地権売却損			0	
電話加入権売却損			0	
固定資産減損損失	0	0	0	
土地減損損失			0	
投資有価証券減損損失			0	
災害損失	0	0	0	
災害損失			0	
経常外費用計	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-331,778	-652,745	320,967	
一般正味財産期首残高	15,527,451	16,180,196	△ 652,745	
一般正味財産期末残高	15,195,673	15,527,451	△ 331,778	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
受取国庫補助金			0	
受取地方公共団体補助金			0	
受取民間補助金			0	
受取国庫助成金			0	
受取地方公共団体助成金			0	
受取民間助成金			0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金			0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金			0	
固定資産受贈益	0	0	0	
土地受贈益			0	
投資有価証券受贈益			0	
基本財産評価益	0	0	0	
基本財産評価益			0	
特定資産評価益	0	0	0	
特定資産評価益			0	
基本財産評価損	0	0	0	
基本財産評価損			0	
特定資産評価損	0	0	0	
特定資産評価損			0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
一般正味財産への振替額			0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	15,195,673	15,527,451	△ 331,778	

2023年度貸借対照表  
2023年11月30日現在

(単位:円)

科 目	今年度決算	前年度決算	増減
<b>I 資産の部</b>			
1.流動資産			
現金預金	218,596	37,249	181,347
立替金		0	0
未収入金		350,000	△ 350,000
事業仮払金		0	0
その他仮払金		0	0
流動資産合計	218,596	387,249	△ 168,653
2.固定資産			0
(1)基本財産			0
預金	11,333,300	11,333,300	0
土地	0	0	0
建物	1,828,420	2,105,938	△ 277,518
構築物	0	0	0
基本財産合計	13,161,720	13,439,238	△ 277,518
(2)特定資産			0
JC会館修繕積立金	936,723	2,247,468	△ 1,310,745
特定費用準備資金	369,265	0	369,265
特定資産合計	1,305,988	2,247,468	△ 941,480
(3)その他固定資産			0
什器備品	0	0	0
出資金	0	0	0
絵画	50,000	50,000	0
その他固定資産	1	1	0
その他固定資産合計	50,001	50,001	0
<b>資産の部合計</b>	<b>14,736,305</b>	<b>16,123,956</b>	<b>△ 1,387,651</b>
<b>II 負債の部</b>			0
1.流動負債			0
未払金	0	607,018	△ 607,018
預り金	0	2,749	△ 2,749
前払い金			0
仮受金			0
流動負債合計	0	609,767	△ 609,767
2.固定負債			0
事業積立資産引当金			0
固定負債合計	0	0	0
<b>負債の部合計</b>	<b>0</b>	<b>609,767</b>	<b>△ 609,767</b>
<b>III 正味財産の部</b>			0
1.指定正味財産			0
補助金			0
寄付金			0
指定正味財産合計	0	0	0
(内、特定資産への充当額)			0
2.一般正味財産			0
一般正味財産	14,736,305	15,514,189	△ 777,884
一般正味財産合計	14,736,305	15,514,189	△ 777,884
(内、特定資産への充当額)	(内936,723)	(内2,247,468)	
<b>正味財産合計</b>	<b>14,736,305</b>	<b>15,514,189</b>	<b>△ 777,884</b>
当期正味財産増加額	0	609,767	△ 609,767
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>14,736,305</b>	<b>16,123,956</b>	<b>△ 1,387,651</b>

**貸借対照表（内訳）**  
2023年11月30日現在

（単位：円）

科目	公益目的 事業会計	その他事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現金預金	0	0		0	0
東邦銀行一之町支店	0	0	218,596	0	218,596
未収入金(事業)	0	0	0	0	0
流動資産合計	0	0	218,596	0	218,596
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
預金	11,333,300	0		0	11,333,300
建物	1,451,765	376,655		0	1,828,420
構築物					0
基本財産合計	12,785,065	0	0	0	13,161,720
(2) 特定資産					
JC会館修繕積立金	0	0	936,723	0	936,723
事業準備積立金	0	0	355,265	0	355,265
特定資産合計	0	0	1,291,988	0	1,291,988
(3) その他固定資産					
絵画			50,000		50,000
構築物			1		1
その他固定資産合計	0	376,655	50,001	0	50,001
固定資産合計	12,785,065	376,655	1,341,989	0	14,503,709
資産合計	12,785,065	376,655	1,560,585	0	14,722,305
<b>II 負債の部</b>					0
1. 流動負債					0
未払金			0		0
預り金			0		0
流動負債合計	0	0	0	0	0
2. 固定負債					0
固定負債合計	0	0	0	0	0
負債合計	0	0	0	0	0
<b>III 正味財産の部</b>					0
1. 指定正味財産					0
指定正味財産合計	0	0	0	0	0
(うち基本財産への充当額)					0
(うち特定資産への充当額)					0
2. 一般正味財産	12,785,065	376,655	1,560,585	0	14,722,305
(うち基本財産への充当額)	(内11,333,300)			0	(内11,333,300)
(うち特定資産への充当額)			(内2,807,268)	0	(内2,807,268)
正味財産合計	12,785,065	376,655	1,560,585	0	14,722,305
負債及び正味財産合計	12,785,065	376,655	1,560,585	0	14,722,305

財務諸表に関する注記

2023年11月30日現在

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券評価基準及び評価方法

該当なし。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は定額法により行う。

(4) 引当金の計上基準

退職金給与引当金・・・現在の雇用条件を鑑み退職給与引当金は未計上とした。

(5) キャッシュフロー計算書における資金の範囲

金の範囲には、現金預金、未収金、未払金、前受金、前受金及び立替金、預り金を含めることにしている。なお、前期及び当期末残高は7に記載するとおりである。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

2011年度より「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を適用する。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである。

単位:円

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	11,333,300	0	0	11,333,300
建物	2,383,456	0	277,518	2,105,938
駐車場	1	0	0	1
小計	13,716,757	0	277,518	13,439,239
合計	13,716,757	0	277,518	13,439,239
特定資産				
JC会館積立金	2,227,468	40,000	1,310,745	956,723
事業準備積立金	0	355,265	0	355,265
小計	2,227,468	395,265	1,310,745	1,311,988
合計	2,227,468	395,265	1,310,745	1,311,988

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

単位:円

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当)	(うち一般正味財産からの充当)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	11,333,300	0	0	0
建物	1,828,420	0	0	0
駐車場	1	0	0	0
小計	13,161,721	0	0	0
合計	13,161,721	0	0	0
特定資産				
JC会館積立金	956,723	0	40,000	0
事業準備積立金	355,265	0	0	0
小計	1,311,988	0	40,000	0
合計	1,311,988	0	40,000	0

6. 担保に供している資産  
該当なし。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価格	本年度償却額	減価償却累計額	当期末残高	備考
建物	10,317,090	0	10,317,089	1	昭和53年取得 定額法24年 残存価格5%
建物	3,300,000	0	3,299,999	1	平成元年取得 (フロー増築) 定額法24年
建物	2,814,000	106,369	2,493,341	320,659	平成12年7月取得 (トイレ増築) 定額法24年
駐車場	400,000	0	399,999	1	昭和52年取得 定額法10年 残存価格5%
建物	4,074,993	171,149	2,567,235	1,507,758	平成21年取得 定額法24年 (フロー改修) 残存価格5%
合計	20,906,083	277,518	19,077,663	1,828,420	

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高  
債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は次のとおりである。

単位:円

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	当期末残高
預り金	0	0	0
未払金	0	0	0
合計	0	0	0

9. 保証債務等の偶発債務  
該当なし。

10. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
該当なし。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

単位:円

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
会津絵ろろそくまつり運営委託費	会津まつり協会	0	2,461,086	2,461,086	0	残高0の為なし
合計		0	2,461,086	2,461,086	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当なし。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は次のとおりである。

内 容	金 額
該当なし	0
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容  
該当なし。
15. キャッシュフロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当なし。
16. 重要な後発事象  
該当なし。
17. その他  
該当なし。

財産目録  
2023年11月30日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	手元保管		37,249
	預金	普通預金 東邦銀行一之町支店	運営資金として	181,347
	前払金(IC手帳、保険料前払い)			0
	退職給与引当金預金			0
	未収入金			
<b>流動資産合計</b>				<b>218,596</b>
<b>(固定資産)</b>				
<b>基本財産</b>				
	基本財産	定期預金 東邦銀行一之町支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業に充当している。	11,333,300
<b>特定資産</b>				
	建物 木造亜鉛メッキ平屋建 駐車場コンクリート舗装	169.29㎡ 320㎡	公益目的保有建築物として所有して 公益目的保有建築物として所有して	1,828,420 1
	JC会館積立金	定期預金 東邦銀行一之町支店1年	保有建築物の修繕、改築の為の 積み立て資金として管理している	936,723
	特別事業積立金	定期預金 東邦銀行一之町支店1年	事業実施のための積立資金として 管理している	369,265
<b>その他の固定資産</b>				
	絵画五十嵐二郎20号			50,000
<b>固定資産合計</b>				<b>14,517,709</b>
<b>資産合計</b>				<b>14,736,305</b>
<b>(流動負債)</b>				
	預り金 未払金	従業員に対するもの 翌月支払い分	職員社会保険料預り金 管理費支出費	3,000
<b>流動負債合計</b>				<b>3,000</b>
<b>(固定負債)</b>				
	退職給与引当金			0
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>
<b>負債合計</b>				<b>3,000</b>
<b>正味財産</b>				<b>14,733,305</b>

※注記で減価償却を入れて算出した金額  
※駐車場は償却済みで1円

メモ  
2022年度の未払い金内訳

3,000 わんぱく 登録料

合計 3,000

## 監査報告書

公益社団法人会津青年会議所  
理事長 林 陵 平 様

2023年12月12日、公益社団法人会津青年会議所事務局において監査を実施しました。各種資料及び帳簿を確認したところ、公正な会計処理がされていることをご報告いたします。

2023年12月12日

監 事 星 辰 典 

監 事 田 中 厚 

公益社団法人 会津青年会議所

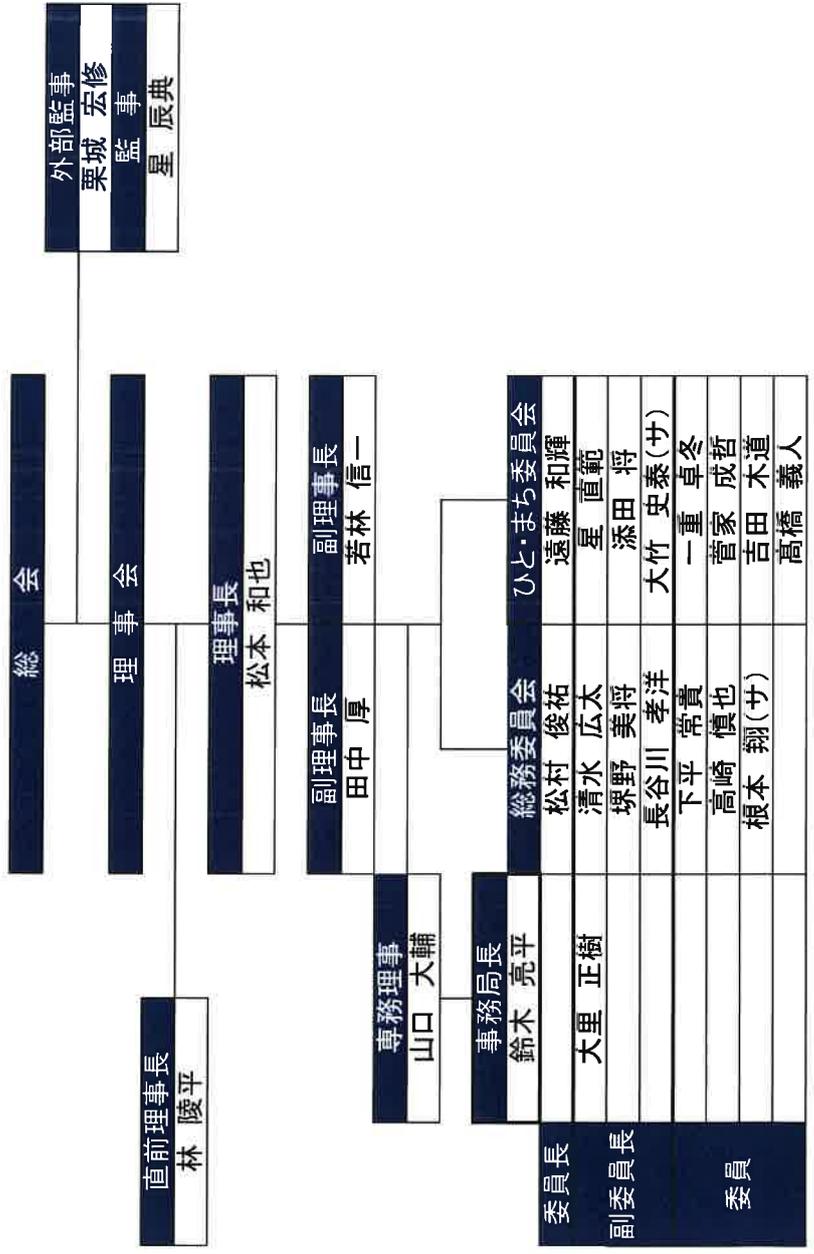
2024度  
事業計画書・予算書

自 2023年12月 1 日

至 2024年11月30日

# 2024年度 組織図

<b>(公社)日本青年会議所</b>	
<b>(公社)日本青年会議所 東北地区協議会</b>	
<b>東北ゼミナール委員会</b>	
<b>副委員長 遠藤和輝</b>	
<b>(公社)日本青年会議所 東北地区 福島ブロック協議会</b>	
<b>監査担当役員</b>	
<b>アカデミー委員会</b>	<b>林 陵平</b>
<b>ブロック大会実行委員会</b>	<b>副委員長 星 辰典</b>
<b>委員</b>	<b>田中 厚</b>



## 理事長所信

第68代理事長 松本 和也

### 【はじめに】

会津青年会議所（以下、JCI会津）は昭和26年に志高き31名の青年により全国で24番目、そして福島県内では初めての青年会議所として設立されました。JCI会津は、明るい豊かな社会の実現に向かい、地域の未来のために運動・活動を展開し、本年73年目を迎えます。

JAYCEEの最大の目的である、明るい豊かな社会の実現の捉え方はさまざまであると考えます。私が考える明るい豊かな社会とは、地域の人々が自発的かつ能動的に社会問題に取り組み、解決できる社会であると考えます。

産業の発展によりデジタル技術、人工知能（AI）が発展を遂げています。そして、昨今の新型コロナウイルス感染拡大に起因し、各技術が社会に浸透し、私たちにとって身近なものになってきています。このことにより、従来当たり前だと思っていた社会の常識は大きく変わり、時代は新たなステージに進み始めました。今まさに誰もが想像しなかった新しい世界が開かれたことで、問題も浮き彫りになっています。このような時代の中で、私たち青年経済人は、デジタル技術、人工知能（AI）では実現できない価値を持った存在となり、率先して各種団体、地域住民を巻き込み、私たちの地域をより豊かにする責務を負っていると考えます。

JCI会津はこのような責務を負った20歳から40歳までが所属する組織であるとともに、先輩方がそれぞれの時代に寄り添いながら次々と現れる社会問題に対し解決を試み、常に新しい挑戦をしてきた伝統ある組織です。この組織の強みを会員に再認識させ地域を巻き込めるリーダーとなれる人財を1人でも多く輩出し、地域により良い変化をもたらすことを目標に、本年1年間活動してまいります。

### 【自己を成長させ、仲間を増やし育もう】

これからの時代に求められるのはどのような人財でしょうか。

人工知能（AI）の急速な発展及び浸透が予想されるこれからの時代においては、今まで人間が行った際に生じたエラーが生じず、完璧な事務手続きが実現される可能性すらあります。もっとも、社会がこのように変わっていったとしても、社会をより良くする運動を創っていくのは人です。なぜならば、人の決定は人工知能（AI）にはない、人の心に訴えかける発想や価値により決まり、この要素こそが他の組織や地域住民を巻き込むことができるものであるためです。そして、思いや考えは、適切に他者に伝えてこそ価値があるものとなります。JCI会津は、地域の問題を率先して解決する組織として、相手の心に響く思いや考えを持ち、適切に伝えることができる人財を育成する組織になる必要があります。そして、JCI会津で研鑽を積んだ人財が、自らの思いや考えを他者に伝え、伝播することにより、より良い変化が社会に起こるものと確信しています。

また、J C I 会津が相手の心に響く思いや考えを持ち適切に伝える人財を育成する組織になれば、各会員が組織の魅力を発信することが可能になり、我々の運動・活動に共感する仲間を増やすことができます。その上、仲間が増えれば、組織内での意見交換が活発になり、より良い循環が生まれることで、さらに大きな影響力を持った組織へと成長することができます。

私は、他人の心に響く思いや考えを適切に伝え、人を動かし巻き込むことができる人財を育成することが会員拡大及び社会課題解決のために不可欠な要素であると考えます。

### 【会津の未来のために】

我々の住む会津地域には多くの地域資源が存在します。しかしながら、それらに気づき活用する機会がなければ意味がありません。この点において、地域資源は同じ地域で長く住み暮らした者にとっては、当たり前の存在であり、その魅力に気づきにくいというケースがしばしば見られます。そこで、我々のような若い人財による新しい視点をもとに、地域資源を活かした魅力的な運動を展開することで、魅力あふれる地域づくりの起点を創出します。その結果、このような運動が伝播し、地域住民が自発的かつ能動的に活動する地域を目指します。

一方で、地域をより良くする運動を継続的に担うことのできる新たな人財育成も、継続的な地域発展には必要不可欠です。運動を担う人財に求められる能力は、日々発展進歩する現代社会において、問題点や課題を様々な視点で分析・検討する能力であると考えます。この能力は考えることを習慣化することにより得られるものです。そのため、次世代を担う子どもたちが多角的な思考力を身に付けることができる運動を行い、より良い地域創造の担い手を育成していきます。

地域の魅力の掘り起こしと、継続的な運動を構築できる人財育成が合わさり、より良い地域創造につながると考え、各目的が連動する運動・活動を行い、地域により良い変化をもたらします。

### 【活動の土台を整え、発信しよう】

青年会議所運動・活動は、地域により良い変化をもたらすものであり、そのような運動・活動を継続するには効率的な組織運営が大切です。効率的な組織運営のためには、会員相互間で活発な議論を行える環境及び議論経過を効率的に確認できる環境づくりが必要不可欠となります。このような環境づくりは、目に見えた活動ではないため、周知されにくい部分ではありますが運動・活動の土台となる部分であることから、従来の方にとらわれない環境づくりを続ける必要があります。

さらに、どれだけ地域により良い変化をもたらす運動・活動であっても、地域の人々に周知、伝播されなければ、運動・活動が社会に与える影響を最大限発揮することはできません。現代社会ではSNSの発展によって、誰しもが発信者の立場になることが可能になりました。もっとも、受け手を意識した発信を実現できなければ、効果的な広報を実現することはできません。広報の受け手を意識し、効率的に社会へ影響を与える発信を実現することが必要です。

より効率的な会議環境の構築及び広報を通し、各運動・活動が社会に与える影響力の最大

化を図っていきます。

### 【同友との繋がりを成長に】

J C I 会津はむつ青年会議所と昭和56年に、函館青年会議所と平成9年に、姉妹締結をしました。各青年会議所とは戊辰戦争の歴史を背景に文化交流があることを縁に姉妹青年会議所となっています。先輩方が姉妹青年会議所を過去から現在に紡いできたことに感謝をし、交流をする中で、更に深い友好関係を築き両地域の振興を図ることが我々の責務です。特に、むつ青年会議所は本年で創立65周年を迎えます。多くの会員で交流し、過去を振り返るとともに、絆を深めることで、学びの機会とし、会員の自己成長に繋がります。

### 【出向を成長の機会に】

青年会議所は出向という機会があります。出向は同じ志を持った仲間と出会える場所であり、自分自身のネットワークを拓けることで個人の成長が図れ、組織の成長にも繋がります。私自身、福島ブロック協議会への出向を経験し、多くの仲間と出会い、広い視野を持つことができました。また、他の青年会議所の運動・活動を知ることができ、J C I 会津の運動・活動を見直すきっかけにもなります。世界まで繋がりのある青年会議所であるからこそ、様々なネットワークを構築し、各地の同志と友情の輪を深めてほしいと思います。それがJ C I 会津の更なる成長に繋がります。

### 【最後に】

現代社会の進歩・発展は目まぐるしいものであり、我々は日々新たな問題に対する決断に迫られています。一人の力ではより良い決断や影響が与えられないとしても、私たち一人ひとりがさらに成長したうえで、思いを一つにすれば、J C I 会津に立ち向かえない問題はないと考えます。新たな問題に誰よりも早く挑戦し、解決することで、地域はさらに発展していきます。私は、J C I 会津が、新たな問題に挑戦する熱い思いをもった同士とともに私たちの故郷である会津地域により良い影響を与え続けられる組織となるよう邁進して参ります。

## 基本理念

新たな問題に挑戦することで、

J C と地域をより良くしよう

スローガン

思いをかたちに

## 基本方針及び事業計画

- 1、会津青年会議所全体として取り組む事業
  - ・会員拡大
  - ・公益社団法人日本青年会議所及び東北地区協議会  
福島ブロック協議会への積極的な参加、支援
  - ・姉妹青年会議所との交流
  
- 2、会津青年会議所が委員会を通して取り組む事業
  - ・地域を巻き込める会員を育成する事業
  - ・会員拡大
  - ・新入会員の参加を促進する事業
  - ・新たな魅力を創出するひと、まちづくり事業
  
- 3、会津青年会議所が行政、他団体と協力して行う事業
  - ・会津絵ろうそくまつり
  - ・わんぱく相撲

## 委員会構成

- 1、事務局
  - ・地域を巻き込める会員を育成する事業
  - ・会員拡大の推進
  - ・新入会員の参加を促進する事業
  
- 2、ひと・まち委員会
  - ・地域社会の活性化を図る事業
  - ・青少年の健全な育成を図る事業
  
- 3、総務委員会
  - ・全会員への情報の共有
  - ・総務、広報
  - ・青年会議所会員同士の交流

## 総務委員会

委員長 松村 俊祐  
副委員長 清水 広太  
副委員長 堀野 美将  
副委員長 長谷川 孝洋

〈スローガン〉

自利利他円満 ～新たな自分を発見したその先へ～

### ■基本方針

近年は少人数での組織運営を余儀なくされ、一人ひとりの青年会議所活動に対する負担が増加している傾向にあります。これからの地域を担う青年経済人だからこそできる今の時代に合った組織運営を行い、少人数でも運営できる環境を構築していくことが重要になります。また、運動と活動を地域に周知し、地域の理解を得ることも継続的な青年会議所の運営には必要だと考えます。

長い歴史を持つ組織だからこそ固定概念に囚われることなく意識改革を行っていく必要があります。常に運営方法の見直しを意識することで、効率的かつ継続的な組織運営に繋がります。また、青年会議所の運動と活動を迅速に発信していくためのツールや運営方法を構築していくことも、今後の地域に根付き必要とされる組織になるために重要なことです。

今年度の総務委員会では、現状の改善を図り効率的な活動を行える土台を作り、青年会議所運動を広く発信できるように一年間活動して参ります。

### ■事業計画

〈例会〉

- (1) 総会（12月例会）
- (2) 新年会（1月例会）
- (3) 会員の意識改革を行う事業（4月例会）
- (4) 総会（8月例会）
- (5) 納会（11月例会）

〈業務〉

- (1) 総務
  - ① 会員台帳・名簿・J C手帳の作成
  - ② 管理全般（J C会館、備品、各種資料、ホームページ、新入会員への入会手続

き業務、財務諸表管理の補佐)

③総会の運営

④各種会議の設営・セクレタリー及び議事録の作成

(2) 広報部門

①広報誌「明日のために」1月作成・発行

②ホームページ、その他各種媒体（SNS等）を活用した情報の発信

③各種事業における広報活動の支援

## ひと・まち委員会

委員長 遠藤 和輝  
副委員長 星 直範  
副委員長 添田 将  
副委員長 大竹 史泰

### <スローガン>

未来を切り開く人財育成

#### ■基本方針

我々の住んでいる社会は、様々な要因により常に変化する時代にあります。例えば、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、生活様式が一変し、オンラインでの会議が当たり前になりました。他にも人口減少の影響により、経済活動において深刻な人材不足が起こっています。前者は、予期せぬ事態により急速に変化したものであり、後者は既に予測され、対策を講じてきた事象ですが、決定的な打開策を見出せずに予測が現実となった事例です。どちらも再び同じように社会変化をもたらす要因となります。

このような社会変化を乗り越え、持続可能な地域としてあり続けるためには、社会変化に柔軟に対応し、新しいものを積極的に取り入れ、今まで受け継がれてきたものをしっかりと後世に受け継いでいくことが大切です。またこのような地域には、地域の魅力を多角的に捉え、地域をより良い方向へ導く人財が必要です。

本年、ひと・まち委員会では、地域の魅力に気づき、その魅力を活かして地域を明るい未来へと導く人財育成を目的として事業を展開します。

#### ■事業計画

##### <例会>

- (1) 第25回絵ろうそくまつり (2月例会)
- (2) わんぱく相撲あいづ場所 (5月例会)
- (3) 明るい未来をつくる事業2 (10月例会)

##### <事業>

- (4) 地域の魅力に気づく事業1

事務局

事務局長 鈴木 亮平  
副委員長 大里 正樹

<スローガン>

未来に繋げる人の価値！

#### ■基本方針

私たち会津青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現のため、日々、地域に根差した活動を展開しております。私たちの先輩方は常に新しい挑戦をしており、そこには大変な時間と労力を必要としていたことは間違いありません。しかし今社会の常識は大きく変わり、時代は新たなステージへと進む中、優先順位も変わり、限られた時間で目的を達成しなければなりません。

地域課題や新たな問題に立ち向かい、誰もが幸せになれる社会を築くためには、周りの人に自分の考え、思いを適切に伝え、理解してもらい、共感を生み共に行動することが重要です。そのためには、何より人を巻き込む力こそ今のJCにとって必要不可欠な能力であると思います。市民の方々が一緒に前を向いて、能動的にまちづくりをすることこそが持続可能な地域になると確信しております。

本年度事務局として未来に繋げる人財を育成し、魅力溢れる団体にすることが最大の目的として邁進してまいります。

#### ■事業計画

《例会》

- (1) 人を巻き込むためには(3月例会)
- (2) 会員向け勉強会(6月例会)
- (3) 地域を巻き込む事業(9月例会)

《会員拡大》

- (1) 会員拡大会議

2024年度 特別委員会

会員資格審議委員会		
	委員長	田中 厚
	副委員長	松村 俊祐
	委員	清水 広太
	委員	堺野 美将
	委員	長谷川孝洋
褒賞委員会		
	委員長	林 陵平
	副委員長	若林 信一
	委員	田中 厚
	委員	鈴木 亮平
	委員	山口 大輔
J C会館管理委員会		
	委員長	田中 厚
	副委員長	山口 大輔
	委員	二瓶 孝文 (OB)
	委員	深谷瑞比古 (OB)
基本財産等管理委員会		
	委員長	鈴木 亮平
	副委員長	山口 大輔
	委員	明田 圭右 (OB)
	委員	奥村 友一 (OB)

収入の部				2023年度 決算	2024年度 予算	差異	摘 要	
科 大	科 中	科 小	目 目					
事業活動収入	①	基本財産運用収入	基本財産利息収入	226	226	0	基本財産の受取利息	
	②	特定資産運用収入	特定資産利息収入	21	21	0	特定資産の受取利息	
	③	入金金収入	受取入金金収入	0	975,000	975,000	#65,000×15人	
	④	会費収入	正会員年会費収入	正会員年会費収入	3,125,000	2,375,000	-750,000	#125,000×19人
				新入会員年会費収入	0	900,000	900,000	#60,000×15人
				賛助会員年会費収入	0	0	0	賛助会員なし
				特別会員年会費収入	40,000	120,000	80,000	#20,000×6人(卒業生)
				サポーター年会費収入	100,000	75,000	-25,000	現在4名 期首2名 新規1名
				計	3,265,000	3,470,000	205,000	
	⑤	事業収入	事業費繰入収入	登録料収入計	524,340	15,000	-63,500	
				わんぱく相撲登録料	14,000	15,000	1,000	500円×30人=合計15,000円
				地域委員業	64,500	0	-64,500	
				総務事業	0	0	0	
				三役	0	0	0	
				広告費収入	0	0	0	
				販売収入	0	0	0	
				業務受託収入	50,000	50,000	0	〇日会事務委託費 50,000円
				家賃・会議室料収入	0	0	0	
				雑収入	0	0	0	
	計	128,500	65,000	-63,500				
⑥	補助金等収入	国庫補助金収入	国庫補助金収入	0	0	0		
			地方公共団体補助金収入	0	500,000	500,000	事務局9月例会	
			民間補助金収入	2,461,086	3,000,000	538,914	会津絵ろうそくまつり実行委員会(絵ろうそくまつり補助金として)	
			地方公共団体助成金収入	0	0	0		
			民間助成金収入	0	0	0		
計	2,461,086	3,500,000	1,038,914					
⑦	寄付金収入	寄付金収入	寄付金収入	720,000	100,000	-620,000	9月例会	
			募金収入	0	0	0		
計	720,000	100,000	-620,000					
⑧	雑収入	受取利息収入	受取利息収入	8	0	-8		
			その他雑収入	26,886	-	-26,886	自動販売機	
計	26,894	0	-26,894					
⑨	他会計からの繰入金収入	一般会計からの繰入金収入	一般会計からの繰入金収入	0	0	0		
			特別会計からの繰入金収入	1,310,745	0	-1,310,745		
			基金会計からの繰入金収入	0	0	0		
			計	1,310,745	0	-1,310,745		
事業活動収入計				7,912,472	8,110,247	197,775		

科		目	2023年度 決算	2024年度 予算	差異	備	要	
大	科	中						
		小						
		科						
		目						
①	事業費支出	事業費支出						
		< 三 役 >	0	0	0	7月例会 ブロック大会		
			0	0	0			
		小計	0	0	0			
		< 総務委員会 >	159,140	160,000	860	1月例会 新年会		
			9,900	50,000	40,100	4月例会		
			19,500	20,000	500	11月例会 納会		
		小計	188,540	230,000	41,460			
		< ひとまち委員会 >	2,525,586	3,000,000	474,414	2月例会		
			223,337	250,000	26,663	5月例会 わんぱく相撲		
			0	100,000	0	事業		
			45,299	100,000	54,701	10月例会		
		小計	2,794,222	3,450,000	655,778			
		< 事務局 >	55,207	50,000	-5,207	3月例会		
			40,892	0	-40,892	6月例会		
			0	700,000	700,000	9月例会		
		小計	96,099	750,000	653,901			
		委員会運営費支出	0	0	0			
		事業予備費支出	0	0	0			
		合計	3,078,861	4,430,000	1,351,139			
		②	管理費支出	給料手当	736,574	698,400	-38,174	事務局員費(144日・基本給・残業・交通費等)
				退職給付費用	0	0	0	
				福利厚生費	15,132	0	-15,132	労働保険料
				会議費	3,780	5,000	1,220	定時総会はがき代(19名×2回×126円)
				旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	247,120			250,000	2,880	電話電報代・年賀状・FAX代・切手代・PC等		
減価償却費	277,518			277,518	0			
消耗什器備品費	0			0	0			
消耗品費	65,017			100,000	34,983	コピー・プリンター用紙・印鑑他		
修繕費	638,000			0	-638,000			
印刷製本費	206,800			213,000	6,200	ポスター・会員手帳・名刺・年賀状カード・リーフレット		
燃料費	25,124			50,000	24,876	灯油代		
光熱水料費	301,109			320,000	18,891	電気・ガス・水道代		
賃借料	419,444			419,440	-4	地代・AEDリース料		
保険料	47,900			47,900	0	火災保険料		
諸謝金	0			0	0			
租税公課	0			0	0	登記料・収入印紙代		
渉外費	20,000			30,000	10,000	わんぱく・香典・祝電・御祝・協賛		
業務委託費	149,336			150,000	664	ターボ・管理費等・ALSOK		
広報費	77,660			49,700	-27,960	年賀及び一般広告代		
記念品費	0			0	0			
雑費	96,486			100,000	3,514	振込振替手数料・新聞代・初穂料		
管理・運営予備費	0			0	0	新入会員関連		
計	3,326,950			2,710,958	-615,992			
③	負担金			支払い・協賛負担金	0	0	0	
		J C I 負担金	40,300	64,974	24,674	@1,911×34人		
		日本 J C 負担金	30,000	30,000	0	基本金30,000(50人以下予定のため)		
		日本 J C 付加金	125,000	170,000	45,000	付加金@5,000×34人		
		日本 J C 出向者負担金	20,000	20,000	0	基本金@20,000		
		東北地区協議会負担金	5,000	5,000	0	基本金5,000		
		東北地区協議会付加金	37,500	51,000	13,500	付加金@1,500×34人		
		東北地区協議会出向者負担金	0	20,000	20,000	負担金@10,000×1人		
		福島ブロック協議会負担金	35,000	35,000	0	基本金35,000		
		福島ブロック協議会付加金	125,000	170,000	45,000	付加金@5,000×34人		
		国際協力資本金	45,625	62,050	16,425	@1825×34人		
		機関誌購読料	75,000	102,000	27,000	We Believe購読料@3,000×34人		
		計	538,425	730,024	191,599			
④	他会計への繰入金支出	一般会計への繰入金支出	0	0	0			
		特別会計への繰入金支出	369,265	119,265	-250,000			
		基金会計への繰入金支出	40,000	120,000	80,000	@20,000×6人		
計	409,265	239,265	-170,000					
⑤	その他支出		0	0	0			
		計	0	0	0			
事業活動支出計			7,353,501	8,110,247	756,746			
事業活動収支差額			558,971	0	-558,971			

事業活動支出







科目名	公益目的事業等会計					収益事業等会計					法人会計	内部取引消去	合計	
	公① 地域の豊潤に 寄与する事業	公② 青少年育成 事業	公③ その他公益目 的的事业	共通	小計	他① 会員の買買向 上事業	他② 会員間並びに 姉団体との交 渉事業	他③ 会員の 拡大を 図る事業	共通	小計				
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑物売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増地増売売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資者優待受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用														
固定資産売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑物売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車両運搬具売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
増地増売売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資者優待減損損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
災害損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会社振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期末一般正味財産増減額	-447,852	-414,589	0	1,200,226	349,985	-82,997	-221,329	0	345,000	40,677	-9,397	0	120,000	
一般正味財産期首残高	0	0	0	13,524,861	13,524,861	0	0	0	548,160	548,160	2,507,401	0	16,180,198	
一般正味財産期末残高	-447,852	-414,589	0	14,524,861	13,867,620	-82,997	-221,329	0	893,160	588,837	2,298,004	0	16,554,461	
正味正味財産増減の部														
受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取国庫助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取地方公共団体助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土地受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資者優待受贈益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正味財産期末残高	-447,852	-414,589	0	14,524,861	13,867,620	-82,997	-221,329	0	893,160	588,837	2,298,004	0	16,554,461	

# 正味財産増減計算書

2022年11月30日現在

(単位:円)

科目名	当年度	前年度	増減	適用
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
<b>基本財産運用益</b>	<b>226</b>	<b>226</b>	<b>0</b>	
基本財産受取利息	226	226	0	定期預金(東邦銀行)
基本財産受取配当金			0	
基本財産受取賃貸料			0	
<b>特定資産運用益</b>	<b>21</b>	<b>21</b>	<b>0</b>	
特定資産受取利息	21	21	0	定期預金(東邦銀行)
特定資産受取配当金			0	
特定資産受取賃貸料			0	
<b>受取入会金</b>	<b>975,000</b>	<b>0</b>	<b>975,000</b>	
受取入会金	975,000	0	975,000	@65,000 × 15人
<b>受取会費</b>	<b>3,470,000</b>	<b>3,290,000</b>	<b>180,000</b>	
正会員会費	2,375,000	3,125,000	△ 750,000	@125,000 × 19人
新入会員会費	900,000	0	900,000	@60,000 × 15人
サポーター会員会費	75,000	125,000	△ 50,000	現在4名 期首2名 新規1名
特別会員会費	120,000	40,000	80,000	@20,000 × 6人(卒業生)
<b>事業収益</b>	<b>65,000</b>	<b>574,340</b>	<b>△ 509,340</b>	
登録料収益	15,000	524,340	△ 509,340	わんぱく相撲登録料 函館姉妹JC記念式典登録料
懇親会費収益	0	0	0	
広告料収益	0	0	0	
販売収益	0	0	0	
事務局受託収益	50,000	50,000	0	OB会事務委託費 50,000円
雑収益	0	0	0	
<b>受取補助金等</b>	<b>3,500,000</b>	<b>2,461,086</b>	<b>1,038,914</b>	
受取国庫補助金	0	0	0	
受取地方公共団体補助金	500,000	0	500,000	周年事業 サポート事業
受取民間補助金	3,000,000	2,461,086	538,914	会津絵ろうそくまつり実行委員会 (絵ろうそくまつり補助金として)
受取国庫助成金	0	0	0	
受取地方公共団体助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
受取補助金等振替額	0	0	0	
<b>受取負担金</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金振替額	0	0	0	
<b>受取寄付金</b>	<b>0</b>	<b>720,000</b>	<b>△ 720,000</b>	
受取寄付金	0	720,000	△ 720,000	9月例会
募金収益	0	0	0	
受取寄付金振替額	0	0	0	
<b>雑収益</b>	<b>0</b>	<b>26,894</b>	<b>△ 26,894</b>	
受取利息	0	8	△ 8	
特別会計からの繰入金収入	0	0	0	
雑収益	0	26,886	△ 26,886	自動販売機
<b>経常収益計</b>	<b>8,010,247</b>	<b>7,072,567</b>	<b>937,680</b>	

科目名	当年度	前年度	増減	適用
(2)経常費用				
事業費	5,450,473	7,773,310	△ 2,322,837	
給料手当	389,910	472,715	△ 82,805	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	1,500	3,688	△ 2,188	
会議費	0	0	0	
旅費交通費	85,000	62,750	22,250	
通信運搬費	189,900	361,140	△ 171,240	
減価償却費	0	138,759	△ 138,759	
消耗什器備品費	10,000	55,462	△ 45,462	
消耗品費	2,783,360	2,368,484	414,876	
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	114,000	705,463	△ 591,463	
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	162,688	160,568	2,120	
賃借料	282,143	474,835	△ 192,692	
保険料	74,352	149,402	△ 75,050	
諸謝金	62,400	0	62,400	
租税公課	0	0	0	
渉外費	354,000	225,319	128,681	
業務委託費	398,400	1,804,020	△ 1,405,620	
広報費	340,600	243,320	97,280	
記念品費	90,000	487,484	△ 397,484	
雑費	112,220	59,901	52,319	
管理・運営予備費	0	0	0	
負担金	0	0	0	
			0	
			0	
管理費	2,142,991	3,055,898	△ 912,907	
給料手当	308,490	435,303	△ 126,813	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	-1,500	3,396	△ 4,896	
会議費	5,000	0	5,000	
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	122,900	126,237	△ 3,337	
減価償却費	0	138,759	△ 138,759	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	49,160	34,036	15,124	
修繕費	0	679,800	△ 679,800	
印刷製本費	213,000	256,850	△ 43,850	
燃料費	50,000	32,000	18,000	
光熱水料費	157,312	147,861	9,451	
賃借料	206,197	248,088	△ 41,891	
保険料	23,548	22,963	585	
諸謝金	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
渉外費	30,000	73,000	△ 43,000	
業務委託費	150,000	237,600	△ 87,600	
広報費	49,700	77,000	△ 27,300	
記念品費	0	0	0	
雑費	49,160	45,453	3,707	
管理・運営予備費	0	0	0	
負担金	730,024	497,552	232,472	
基本財産評価損益等	0	0	0	
基本財産評価損益等			0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等			0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等			0	
経常費用計	7,593,464	10,829,208	-3,235,744	
評価損益等調整前当期経常増減額	416,783	-3,756,641	4,173,424	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	416,783	-3,756,641	4,173,424	

科目名	当年度	前年度	増減	適用
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	
建物売却益			0	
車両運搬具売却益			0	
什器備品売却益			0	
土地売却益			0	
借地権売却益			0	
電話加入権売却益			0	
固定資産受贈益	0	0	0	
土地受贈益			0	
投資有価証券受贈益			0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却損	0	0	0	
建物売却損			0	
車両運搬具売却損			0	
什器備品売却損			0	
土地売却損			0	
借地権売却損			0	
電話加入権売却損			0	
固定資産減損損失	0	0	0	
土地減損損失			0	
投資有価証券減損損失			0	
災害損失	0	0	0	
災害損失			0	
経常外費用計	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	416,783	-3,756,641	4,173,424	
一般正味財産期首残高	16,180,196	17,162,983	△ 982,787	
一般正味財産期末残高	16,596,979	13,406,342	3,190,637	
<b>Ⅱ 指定正味財産増減の部</b>				
受取補助金等	0	0	0	
受取国庫補助金			0	
受取地方公共団体補助金			0	
受取民間補助金			0	
受取国庫助成金			0	
受取地方公共団体助成金			0	
受取民間助成金			0	
受取負担金	0	0	0	
受取負担金			0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金			0	
固定資産受贈益	0	0	0	
土地受贈益			0	
投資有価証券受贈益			0	
基本財産評価益	0	0	0	
基本財産評価益			0	
特定資産評価益	0	0	0	
特定資産評価益			0	
基本財産評価損	0	0	0	
基本財産評価損			0	
特定資産評価損	0	0	0	
特定資産評価損			0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
一般正味財産への振替額			0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
<b>Ⅲ 正味財産期末残高</b>	<b>16,596,979</b>	<b>13,406,342</b>	<b>3,190,637</b>	

# (公社)会津青年会議所 2024年度 年間スケジュール

2022年度

10月		11月		12月				
月	曜日	LOM	ブロック	T、N、JCI	曜日	LOM	ブロック	T、N、JCI
1	金		研修部長予定者ミーティング		1	水		
2	土				2	木		
3	日				3	金		
4	月				4	土		
5	火				5	日		
6	水				6	月		
7	木				7	火		
8	金				8	水		
9	土				9	木		
10	日				10	金		
11	月				11	土		
12	火				12	日		
13	水				13	月		
14	木	L①模擬四役会			14	火		
15	金				15	水		
16	土				16	木		
17	日				17	金		
18	月				18	土	B②エリア会議	
19	火	L①模擬理事会			19	日		
20	水				20	月		
21	木				21	火		
22	金				22	水		
23	土				23	木		
24	日		B①エリア会議		24	金		B③理事長予定者会議
25	月				25	土		
26	火				26	日		
27	水				27	月		
28	木				28	火		
29	金	L②模擬四役会			29	水		
30	土				30	木		
31	日				31	金		

L②模擬理事会

L③模擬四役会

L③模擬理事会

B②エリア会議

B①エリア会議

B③理事長予定者会議

B④役員会議所予定者会議

2022年度 上期

月	1月				2月				3月			
	曜日	LOM	ブロック	T. N. JCI	曜日	LOM	ブロック	T. N. JCI	曜日	LOM	ブロック	T. N. JCI
1	土				1	火			1	火		
2	日				2	水			2	水		
3	月				3	木			3	木		
4	火	L 事務所開き			4	金			4	金	B 会員会議所	
5	水	L 2021新年会			5	土			5	土		
6	木	L ②理事会			6	日			6	日		
7	金				7	月	L 理事会③		7	月	L 理事会④	
8	土				8	火			8	火		
9	日				9	水			9	水		
10	月	成人式			10	木			10	木		
11	火				11	金	L 絵ろうそくまつり		11	金		
12	水				12	土	L 絵ろうそくまつり		12	土		
13	木				13	日			13	日		
14	金				14	月			14	月		
15	土				15	火			15	火		
16	日				16	水			16	水		
17	月				17	木			17	木		
18	火				18	金			18	金		
19	水				19	土			19	土		
20	木			N 京都会議	20	日			20	日		
21	金			N 京都会議	21	月			21	月		
22	土			N 京都会議	22	火			22	火		
23	日			N 京都会議	23	水			23	水		
24	月	L ①四役会			24	木	L ②四役会		24	木	L ③四役会	
25	火				25	金			25	金		
26	水				26	土			26	土		
27	木				27	日			27	日		
28	金				28	月			28	月		
29	土				29				29	火		
30	日								30	水		
31	月								31	木		

2022年度 上期

		4月					5月					6月				
月	曜日	LOM	ブロック	T.N., JCI	曜日	LOM	ブロック	T.N., JCI	曜日	LOM	ブロック	T.N., JCI	曜日	LOM	ブロック	T.N., JCI
1	金				日				1				水			
2	土				月				2				木			
3	日				火				3				金			
4	月				水				4				土			
5	火				木				5				日			
6	水	L 理事会⑤			金	L 理事会⑥			6				月	L 理事会⑦		
7	木		B 会員会議所		土				7				火			
8	金				日			B 会員会議所	8				水			
9	土				月				9				木			
10	日				火				10				金			
11	月				水				11				土			
12	火				木				12				日			
13	水				金				13				月			
14	木				土				14				火			
15	金				日				15				水			
16	土				月				16				木			
17	日				火				17				金			
18	月				水				18				土			
19	火				木				19				日			
20	水				金				20				月			
21	木				土				21				火			
22	金				日				22				水			
23	土		B しゃく上げCUP		月				23				木			
24	日	L ④四役会			火	L ⑤四役会			24				金	L ⑥四役会		
25	月				水				25				土			
26	火				木			ASPAC	26				日			
27	水				金			ASPAC	27				月			
28	木				土			ASPAC	28				火			
29	金				日			ASPAC	29				水			
30	土				月				30				木			
					火				31							

2022年度 下期

7月		8月		9月								
月	曜日	LOM	ブロック	I, N, JCI	曜日	LOM	ブロック	I, N, JCI	曜日	LOM	ブロック	I, N, JCI
1	金				1				木			
2	土		B ブロック大会		2				金		B 会員会議所	
3	日		B ブロック大会		3				土			
4	月				4				日			
5	火				5				月			
6	水	L 理事会⑧			6				火	L 理事会⑩		
7	木				7				水			
8	金				8		L 理事会⑨		木			
9	土				9				金			
10	日				10				土			
11	月				11				日			
12	火				12				月			
13	水				13				火			
14	木				14				水			
15	金				15				木			
16	土				16				金			
17	日				17				土			
18	月				18				日			
19	火				19				月			
20	水				20				火			
21	木				21				水			
22	金				22				木			
23	土				23				金			
24	日				24		L ⑧四役会		土			
25	月				25				日			
26	火				26				月	L ⑨四役会		
27	水				27		函館25周年式典		火			
28	木				28		函館25周年式典		水			
29	金				29				木			
30	土				30				金			
31	日				31				水			

2022年度 下期										2023年度									
10月					11月					12月									
月	曜日	LOM	ブロック	I、N、JCI	曜日	LOM	ブロック	I、N、JCI	月	曜日	LOM	ブロック	月	曜日	LOM	ブロック	I、N、JCI		
1	土				1	火			1	木			1	木					
2	日				2	水			2	金			2	金					
3	月				3	木			3	土			3	土					
4	火		B 委員会議所		4	金			4	日			4	日					
5	水				5	土			5	月			5	月					
6	木	L 理事会⑩			6	日			6	火			6	火					
7	金			全国大会(大分)	7	月	L 理事会⑪		7	水			7	水					
8	土			全国大会(大分)	8	火			8	木			8	木					
9	日			全国大会(大分)	9	水			9	金			9	金					
10	月			全国大会(大分)	10	木			10	土			10	土					
11	火				11	金			11	日			11	日					
12	水				12	土			12	月			12	月					
13	木				13	日			13	火			13	火					
14	金				14	月			14	水			14	水					
15	土				15	火			15	木			15	木					
16	日				16	水			16	金			16	金					
17	月				17	木			17	土			17	土					
18	火				18	金			18	日			18	日					
19	水				19	土			19	月			19	月					
20	木				20	日			20	火			20	火					
21	金				21	月			21	水			21	水					
22	土				22	火			22	木			22	木					
23	日				23	水			23	金			23	金					
24	月	L ⑩四役会			24	木	L ⑪四役会		24	土			24	土					
25	火				25	金			25	日			25	日					
26	水				26	土			26	月			26	月					
27	木				27	日		B 卒業式	27	火		B 委員会議所	27	火					
28	金				28	月			28	水			28	水					
29	土		B 委員会議所		29	火			29	木			29	木					
30	日				30	水			30	金			30	金					
31	月				31	木			31	土			31	土					